



Cisco Virtual Network Management Center 2.0 CLI コンフィギュレーション ガイド

2012 年 8 月 21 日

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Virtual Network Management Center 2.0 CLI コンフィギュレーションガイド
© 2010-2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	ix
対象読者	ix
マニュアルの構成	ix
表記法	x
関連資料	xi
Cisco Virtual Network Management Center に関するマニュアル	xi
Cisco Virtual Security Gateway に関するマニュアル	xi
Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチのマニュアル	xi
Cisco ASA 1000V マニュアル	xi
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	xii

CHAPTER 1

概要	1-1
VNMC について	1-1
VNMC	1-1
システム要件	1-2
VNMC で使用するための Chrome の設定	1-3
VNMC CLI に関する情報	1-3
VNMC CLI へのアクセス	1-3
vSphere Client を使用した VNMC CLI へのアクセス	1-4
SSH を使用した VNMC CLI へのアクセス	1-4
VNMC CLI の概要	1-5
VNMC CLI の基本コマンド	1-8

CHAPTER 2

VNMC の管理	2-1
VNMC のリポート	2-1
システムの更新	2-2
ホスト名の設定	2-3
VNMC の復元	2-4
サービスの使用	2-5
データベースの再初期化	2-6
サービスの再起動	2-6
サービスの起動	2-7
サービスのステータスの表示	2-8
サービスの停止	2-9

ファイルおよびアプリケーションの管理	2-10
ファイルのコピー	2-10
ファイルの削除	2-11
ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理	2-12
セキュリティの管理	2-14
共有シークレットパスワードの変更	2-14
ネットワーク インターフェースの管理	2-15
IP アドレスの設定	2-15
ゲートウェイ アドレスの設定	2-16
ネットマスクの設定	2-17
ping コマンドの使用	2-18
ターミナル セッション パラメータの設定	2-19
ターミナルの長さの設定	2-19
セッション タイムアウトの設定	2-19
ターミナルの幅の設定	2-20
システム情報の表示	2-21
プロバイダーの表示	2-21
CLI 情報の表示	2-22
クロックの表示	2-23
設定情報の表示	2-24
ネットワーク インターフェースの表示	2-24
システム情報の表示	2-25
バージョン番号の表示	2-26
テクニカルサポート情報の表示	2-27
更新履歴の表示	2-28
FSM の表示	2-31

CHAPTER 3

ファイル バックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理	3-1
Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元	3-1
ファイルのバックアップの操作	3-3
ファイルのバックアップの作成	3-3
ファイル バックアップの削除	3-4
ファイル バックアップの表示	3-5
ファイル バックアップのイネーブル化	3-6
ファイル バックアップのディセーブル化	3-7
ファイル バックアップの属性の使用	3-8
ファイル バックアップの説明属性の設定	3-8
ファイル バックアップに対するパスワード属性の設定	3-9
ファイル バックアップに対するプロトコル属性の設定	3-10

ファイル バックアップのリモート ファイル属性の設定	3-11
ファイル バックアップに対するタイプ属性の設定	3-12
ファイル バックアップに対するユーザ属性の設定	3-13
管理データのエクスポートおよびインポートの使用	3-14
管理データのエクスポート サービスの作成	3-15
管理データのエクスポート サービスの削除	3-16
管理データのエクスポート サービスの表示	3-17
管理データのエクスポート サービスのイネーブル化	3-17
管理データのエクスポート サービスのディセーブル化	3-18
管理データのインポート サービスの作成	3-19
管理データのインポート サービスの削除	3-20
管理データのインポート サービスの表示	3-21
管理データのインポート サービスのイネーブル化	3-22
管理データのインポート サービスのディセーブル化	3-23
管理データの属性の使用	3-24
インポートに対するアクション属性の設定	3-24
エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定	3-25
エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定	3-27
エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定	3-28
エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィックス属性の設定	3-30
エクスポートのタイプ属性の設定	3-31
エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定	3-32

CHAPTER 4

ログ、イベント、および障害の管理 4-1

管理ログの使用	4-1
ログの重大度レベルとログ サイズの設定	4-1
管理ログ レベルのリセット	4-2
管理ログ パラメータの保存	4-3
管理ログの表示	4-4
障害の確認	4-6
監査ログの表示	4-7
イベントの表示	4-8
障害の表示	4-10

CHAPTER 5

デバイス プロファイルの管理 5-1

DNS サーバのホスト名の作成	5-1
NTP サーバのホスト名の作成	5-3
DNS サーバのホスト名の削除	5-4

NTP サーバのホスト名の削除 5-5
 ドメイン名の変更 5-7
 デバイス プロファイルの表示 5-8
 コア ファイル ポリシーの設定 5-9
 障害ポリシーの設定 5-11
 ログ ポリシーの設定 5-12
 syslog ポリシーの設定 5-13
 時間帯の設定 5-15
 DNS サーバの表示 5-16
 ドメイン名の表示 5-17
 NTP サーバの表示 5-19

CHAPTER 6

ポリシーの管理 6-1

コア ファイル ポリシーの使用 6-1
 コア ファイル ポリシーの作成 6-1
 コア ファイル ポリシーの表示 6-2
 コア ファイル ポリシーの削除 6-4
 障害ポリシーの操作 6-5
 障害ポリシーの作成 6-5
 障害ポリシーの表示 6-7
 障害ポリシーの削除 6-8
 ログ ポリシーの使用 6-9
 ログ ポリシーの作成 6-10
 ログ ポリシーの表示 6-11
 ログ ポリシーの削除 6-12
 syslog ポリシーの使用 6-14
 syslog ポリシーの作成 6-14
 syslog ポリシーの表示 6-15
 syslog ポリシーの削除 6-16

CHAPTER 7

コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、およびログ ポリシーの属性の設定 7-1

コア ファイル ポリシーの属性の設定 7-1
 管理状態の設定 7-1
 説明の設定 7-3
 ホスト名の設定 7-5
 パスの設定 7-6
 ポートの設定 7-8
 障害ポリシーの属性の設定 7-9

管理状態の設定	7-9
クリア処理の設定	7-11
説明の設定	7-12
フラッピング間隔の設定	7-14
保持間隔の設定	7-15
ログ ポリシーの属性の設定	7-17
バックアップ カウントの設定	7-17
説明の設定	7-19
レベルの設定	7-20
サイズの設定	7-22

CHAPTER 8

syslog ポリシーの属性の設定	8-1
syslog ポリシーへの説明の割り当て	8-1
syslog アラートの送信	8-3
コンソール属性の使用	8-4
コンソール属性の作成	8-4
コンソール属性のイネーブル化	8-6
コンソール属性のディセーブル化	8-7
コンソール属性の設定	8-9
ファイル属性の使用	8-10
ファイルの作成	8-10
ファイルのイネーブル化	8-12
ファイルのディセーブル化	8-13
ファイルの設定	8-15
モニタ属性の使用	8-16
モニタの作成	8-16
モニタのイネーブル化	8-18
モニタのディセーブル化	8-19
モニタの設定	8-21
リモート宛先属性の使用	8-22
リモート宛先の作成	8-22
リモート宛先のイネーブル化	8-24
リモート宛先のディセーブル化	8-25
リモート宛先の設定	8-27

INDEX



はじめに

『Cisco Virtual Network Management Center 2.0 CLI コンフィギュレーションガイド』には、Cisco バーチャル ネットワーク マネジメントセンター (VNMC) の設定手順が記載されています。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「対象読者」 (P.ix)
- 「マニュアルの構成」 (P.ix)
- 「表記法」 (P.x)
- 「関連資料」 (P.xi)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.xii)

対象読者

本書は、次の経験および知識を持つネットワーク管理者を対象としています。

- VMware vCenter
- VMware vSphere
- VMware ESX および ESXi
- 仮想化の知識
- 仮想マシン



(注) VMware vNetwork 分散スイッチの知識はなくてもかまいません。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章で構成されています。

章およびタイトル	説明
第 1 章「概要」	VNMC と、VNMC CLI の概要を示します。
第 2 章「VNMC の管理」	VNMC の管理手順を示します。

章およびタイトル	説明
第 3 章「ファイルバックアップと管理データのエキスポートおよびインポートの管理」	ファイルバックアップ、エキスポート、およびインポートの管理手順を示します。
第 4 章「ログ、イベント、および障害の管理」	ログ、イベント、および障害の管理手順を示します。
第 5 章「デバイス プロファイルの管理」	デバイス プロファイルの管理手順を示します。
第 6 章「ポリシーの管理」	ポリシーの管理手順を示します。
第 7 章「コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、およびログ ポリシーの属性の設定」	コア ファイル、障害、およびログ ポリシーに対する属性の設定手順を示します。
第 8 章「syslog ポリシーの属性の設定」	コア syslog ポリシーに対する属性の設定手順を示します。

表記法

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
{ }	波カッコの中の要素は、必須の選択要素です。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
x y z	いずれか 1 つを選択する要素は、縦線で区切って示されます。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	デバイスが表示するターミナルセッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、注釈および注意に次の表記法を使用しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

関連資料

ここでは、Cisco Virtual Network Management Center および関連製品に利用可能なマニュアルについて説明します。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[Cisco Virtual Network Management Center に関するマニュアル](#)」 (P.xi)
- 「[Cisco Virtual Security Gateway に関するマニュアル](#)」 (P.xi)
- 「[Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチのマニュアル](#)」 (P.xi)
- 「[Cisco ASA 1000V マニュアル](#)」 (P.xi)

Cisco Virtual Network Management Center に関するマニュアル

以下の Cisco Virtual Network Management Center に関するマニュアルは、Cisco.com の次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps11213/tsd_products_support_series_home.html

- 『Cisco Virtual Network Management Center 2.0 Documentation Overview』
- 『Cisco Virtual Network Management Center 2.0 CLI コンフィギュレーションガイド』
- 『Cisco Virtual Network Management Center 2.0 GUI Configuration Guide』
- 『Cisco Virtual Network Management Center 2.0 Quick Start Guide』
- 『Cisco Virtual Network Management Center 2.0 Release Notes』
- 『Cisco Virtual Network Management Center 2.0 XML API Reference Guide』
- Cisco Virtual Network Management Center 2.0 で使用されているオープン ソース

Cisco Virtual Security Gateway に関するマニュアル

以下の Cisco Virtual Security Gateway for the Nexus 1000V シリーズ スイッチに関するマニュアルは、Cisco.com の次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps11208/tsd_products_support_model_home.html

Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチのマニュアル

Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチのマニュアルは、次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9902/tsd_products_support_series_home.html

Cisco ASA 1000V マニュアル

Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) のマニュアルは、次の URL で入手できます：

http://www.cisco.com/en/US/products/ps12233/tsd_products_support_series_home.html

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は Really Simple Syndication (RSS) フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

概要

この章では、Virtual Network Management Center (VNMC) および VNMC CLI に関する基本情報を提供します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「VNMC について」 (P.1-1)
- 「VNMC CLI に関する情報」 (P.1-3)

VNMC について

ここには VNMC に関する情報が含まれます。

- 「VNMC」 (P.1-1)
- 「システム要件」 (P.1-2)

VNMC

VNMC は Red Hat Enterprise Linux (RHEL) に基づく仮想アプライアンスであり、Cisco Virtual Security Gateway (VSG) および Cisco ASA 1000V Cloud Firewall のデバイスおよびセキュリティポリシーの中央管理を提供します。

VSG は Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチ向けの仮想ファイアウォール アプライアンスです。VSG は、仮想データセンターとクラウド環境への信頼されたアクセスを提供します。VSG は、さまざまなセキュリティプロファイルを持つ複数のテナントワークロードの広範な組み合わせにおいて、仮想データセンターのプライベートクラウドまたはパブリッククラウドで共通のコンピューティングインフラストラクチャを共有できるようにします。VSG は、独立した信頼ゾーンに 1 つ以上の仮想コンピュータ (VM) を関連付けることにより、確立済みのセキュリティポリシーを通じて信頼済みゾーンに対するアクセスの制御と監視を実現します。

ASA 1000V は、Nexus 1000V を配置した複数テナント環境のテナント エッジをセキュリティで保護するために、ASA のインフラストラクチャを使用して開発された仮想アプライアンスです。エッジ機能 (サイト間 VPN、NAT、DHCP など) を提供して、デフォルトゲートウェイとして機能し、ネットワークベースのあらゆる攻撃からテナントの VM を保護します。

複数のテナントの操作を目的に設計された VNMC は、仮想化されたデータセンターとクラウド環境に、シームレスで、スケーラブルな自動化中心の管理を提供します。VNMC で Web ベースの GUI、CLI および XML API を使用すると、データセンター全体に展開されている VSG および ASA 1000V を中央から管理することができます。

マルチテナンシーとは、ソフトウェアの単一のインスタンスが Software-as-a-Service (SaaS) サーバで動作し、複数のクライアント組織またはテナントを処理するアーキテクチャの原理を指します。マルチテナンシーは、クライアント組織ごとに異なるソフトウェア インスタンスを設定する複数インスタンスのアーキテクチャとは対照的です。マルチテナント アーキテクチャでは、データや設定を仮想的にパーティショニングするようにソフトウェア アプリケーションが設計されています。これにより、各テナントはカスタマイズされた仮想アプリケーション インスタンスで作業できます。

VNMC は、各管理対象デバイスがサブコンポーネント別に表示される情報モデル主導のアーキテクチャに基づいて構築されています。このアーキテクチャにより、VNMC はマルチテナント インフラストラクチャの保護の俊敏性を高め、簡略化します。

VNMC は、管理 VLAN を使用して vCenter、VSM、ASA 1000V、および VSG と通信します。

システム要件

表 1 に、Cisco VNMC の要件の一覧を示します。

表 1 Cisco VNMC の要件

要件	説明
仮想アプライアンス	
1 つの仮想 CPU	1.5 GHz
メモリ	3 GB RAM
ディスク容量	共有ネットワーク ファイル ストレージ (NFS) 上の 25 GB、または VNMC をハイ アベイラビリティ (HA) クラスタに配置している場合はストレージエリア ネットワーク (SAN)
管理インターフェイス	1 つの管理ネットワーク インターフェイス
プロセッサ	VMware の互換性マトリクスに記載のある 64 ビット プロセッサを備えた Intel x86 サーバまたは AMD サーバ
VMware	
VMware vSphere	VMware ESX または ESXi を使用したリリース 4.1 または 5.0 (英語のみ)
VMware vCenter	リリース 4.1 または 5.0 (英語のみ)
インターフェイスおよびプロトコル	
HTTP/HTTPS	—
Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)	—
Intel VT	
Intel Virtualization Technology (VT)	BIOS でイネーブル化
Web ベースの GUI クライアントの要件	
ブラウザ	次のいずれかを使用 Internet Explorer 9.0 Mozilla Firefox 11.0 ¹ Chrome 18.0 ²

表 1 Cisco VNMC の要件 (続き)

要件	説明
Flash Player	Adobe Flash Player プラグイン (バージョン 11.2)
アクセスを必要とするファイアウォール ポート	
80	HTTP
443	HTTPS
843	Adobe Flash

1. Adobe Flash Player 11.2 をインストールした Mozilla Firefox 11.0 を推奨します。
2. VNMC 2.0 で Chrome を使用するには、まず Chrome にデフォルトでインストールされている Adobe Flash Player をディセーブルにする必要があります。詳細については、「VNMC で使用するための Chrome の設定」(P.1-3) を参照してください。

VNMC で使用するための Chrome の設定

VNMC 2.0 で Chrome を使用するには、まず Chrome にデフォルトでインストールされている Adobe Flash Player をディセーブルにする必要があります。



(注) クライアント マシンをリブートするたびにこの手順を実行する必要があります。Chrome の場合、それを実行しているシステムをリブートすると、Adobe Flash Player が自動的にイネーブルになります。

Chrome でデフォルトの Adobe Flash Player をディセーブルにするには、次の手順に従います。

- ステップ 1 Chrome の [URL] フィールドに **chrome://plugins** と入力します。
- ステップ 2 [Details] をクリックします。
- ステップ 3 Flash Player のプラグインを検索し、各プラグインをディセーブルにします。
- ステップ 4 Adobe Flash Player バージョン 11.3.300.265 をダウンロードしてインストールします。
- ステップ 5 Chrome をいったん閉じてから再度開き、VNMC 2.0 にログインします。

VNMC CLI に関する情報

ここには VNMC CLI に関する情報が含まれます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「VNMC CLI へのアクセス」(P.1-3)
- 「VNMC CLI の概要」(P.1-5)
- 「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8)

VNMC CLI へのアクセス

次のいずれかの方法で CLI にアクセスできます。

- [vSphere Client](#) を使用した VNMC CLI へのアクセス
- [SSH](#) を使用した VNMC CLI へのアクセス

vSphere Client を使用した VNMC CLI へのアクセス

vSphere Client で VNMC CLI にアクセスするには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** [Home] > [Inventory] > [Hosts and Clusters] の順に選択します。
 - ステップ 2** 左側のペインで、[VNMC VM] を選択します。
 - ステップ 3** [Console] タブをクリックして VNMC CLI にアクセスします。
 - ステップ 4** VNMC のインストール時に指定した VNMC パスワードを使用し、管理者としてログインします。

例

```
hostname login: admin
Password: MyPassword
```

SSH を使用した VNMC CLI へのアクセス

SSH を使用して VNMC CLI にアクセスできます。

SSH から VNMC CLI にアクセスするには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1** 次のコマンドを入力します。

```
ssh admin@VNMC-IP
```

VNMC-IP は、使用している VNMC の IP アドレスです。
 - ステップ 2** 次のプロンプトが表示されたら、VNMC 管理者のパスワードを入力します。

```
admin@VNMC-IP's password:
```
 - ステップ 3** (任意) ssh known_hosts に VNMC IP を保存するかどうかを尋ねられた場合は yes を入力します。
-

例

次に、SSH を使用して VNMC CLI にアクセスする例を示します。

```
$ ssh admin@172.25.97.246
admin@172.25.97.246's password:
Last login: Fri Aug 10 20:49:15 2012 from 171.69.222.221
Logged in from 171.69.154.246
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```



```
host-name#
```

VNMC CLI の概要

CLI は、VNMC の重要なコンポーネントです。これを使用すると、次のタスクを実行できます。

- 再インストールせずに VNMC を VNMC の完全な状態に復元する。
- テクニカル サポート データを収集し、ファイルにコピーする。
- ホスト名を変更する。
- 管理インターフェイス IP 設定を変更する。
- VNMC のデバイス プロファイルを設定する。
- VNMC のシステム ポリシーを作成する。
- バックアップを作成し、サービスをエクスポート/インポートする。

VNMC は、6 個のサブ CLI を含みます。VNMC を管理するには、6 個のサブ CLI をすべて使用します。CLI は次のとおりです。

- 管理コントローラ：これは、デフォルトの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```
host-name#
commit-buffer  Commit transaction buffer
connect        Connect to another CLI
discard-buffer Discard transaction buffer
exit           Exit from command interpreter
scope          Changes the current mode
show           Show system information
terminal       Terminal
top            Go to the top mode
where          Show information about the current mode
```

```
host-name# show
cli            CLI Information
clock         Clock
configuration Configuration
network-interface VM IP interface
system        Systems
version       Version of installed applications
```

- ローカル管理：これは、ローカル管理の CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(local-mgmt)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```
host-name(local-mgmt)#
connect        Connect to another CLI
copy           Copy a file
delete         Delete a file
dir            Show content of dir
exit           Exit from command interpreter
modify         Modify the shared secret on service registry
ping           Ping
reboot         Perform system reboot
restore        Restore the VM
service        Control services
show           Show system information
terminal       Terminal
top            Go to the top mode
update         Update the system using the specified image
```

```

host-name(local-mgmt)# connect
local-mgmt      Local-mgmt
policy-mgr      Policy-mgr
resource-mgr    Resource-mgr
service-reg     Service-reg
vm-mgr          Vm-mgr

host-name(local-mgmt)# show
cli              CLI Information
clock            Clock
tech-support     Show tech support
update-history   show update system image history
version          Version of installed applications

```

- ポリシー マネージャ : これは、ポリシー マネージャの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(policy-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(policy-mgr)#
commit-buffer    Commit transaction buffer
connect          Connect to Another CLI
discard-buffer   Discard transaction buffer
exit             Exit from command interpreter
scope           Changes the current mode
show             Show system information
terminal         Terminal
top             Go to the top mode
where           Show information about the current mode

```

```

host-name(policy-mgr)# connect
policy-mgr      Policy-mgr
resource-mgr    Resource-mgr
service-reg     Service-reg
vm-mgr          Vm-mgr

```

```

host-name(policy-mgr)# scope
monitoring      Monitor the system
org             Organizations

```

```

host-name(policy-mgr)# show
cli              CLI Information
configuration    Configuration
org             Organizations
timezone        Set timezone
version          Version of installed applications

```

- リソース マネージャ : これは、リソース マネージャの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(resource-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(resource-mgr)#
commit-buffer    Commit transaction buffer
connect          Connect to Another CLI
discard-buffer   Discard transaction buffer
exit             Exit from command interpreter
scope           Changes the current mode
show             Show system information
terminal         Terminal
top             Go to the top mode
where           Show information about the current mode

```

```

host-name(resource-mgr)# connect
policy-mgr      Policy-mgr
resource-mgr    Resource-mgr
service-reg     Service-reg

```

```

vm-mgr          Vm-mgr

host-name(resource-mgr)# scope
  monitoring    Monitor the system

host-name(resource-mgr)# show
  cli           CLI Information
  configuration Configuration
  version       Version of installed applications

```

- サービス レジストリ : これは、サービス レジストリの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(service-reg)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(service-reg)#
  acknowledge   Acknowledge
  commit-buffer Commit transaction buffer
  connect       Connect to Another CLI
  discard-buffer Discard transaction buffer
  exit          Exit from command interpreter
  scope         Changes the current mode
  show          Show system information
  terminal       Terminal
  top           Go to the top mode
  where         Show information about the current mode

host-name(service-reg)# connect
  policy-mgr    Policy-mgr
  resource-mgr  Resource-mgr
  service-reg   Service-reg
  vm-mgr        Vm-mgr

host-name(service-reg)# scope
  monitoring    Monitor the system

host-name(service-reg)# show
  cli           CLI Information
  clients       Show registered clients
  configuration Configuration
  controllers   Show registered controllers
  fault         Fault
  providers     Show registered providers
  version       Version of installed applications

```

- 仮想マシン マネージャ : これは、仮想マシン マネージャの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(vm-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(vm-mgr)#
  commit-buffer Commit transaction buffer
  connect       Connect to Another CLI
  discard-buffer Discard transaction buffer
  exit          Exit from command interpreter
  scope         Changes the current mode
  show          Show system information
  terminal       Terminal
  top           Go to the top mode
  where         Show information about the current mode

host-name(vm-mgr)# connect
  policy-mgr    Policy-mgr
  resource-mgr  Resource-mgr
  service-reg   Service-reg
  vm-mgr        Vm-mgr

host-name(vm-mgr)# scope

```

```
monitoring Monitor the system

host-name (vm-mgr) # show
cli          CLI Information
configuration Configuration
version      Version of installed applications
```

VNMC CLI の基本コマンド

VNMC CLI の基本的なコマンドは次のとおりです。

- **commit-buffer** : 設定を保存します。
commit-buffer は、オプション キーワードの **verify-only** と一緒に使用できます。 **commit-buffer verify-only** を実行すると、設定は保存されず、確認のみされて保存されません。
- **connect** : 他の CLI に接続します。
- **discard-buffer** : 設定を削除します。
- **enter** : オブジェクトを作成し、モードを開始します。
- **exit** : モード、CLI、およびデフォルト CLI を終了します。
- **scope** : モードを開始します。
- **show** : 情報を表示します。
- **top** : ロケーション管理コントローラ モードを開始します。
- **where** : VNMC CLI 内の現在の位置を示します。
- **?** : モードで使用できるコマンドを表示します。
- **>** : show コマンドをファイルヘリダイレクトします。
- **>>** : show コマンドをアペンド モードでファイルにリダイレクトします。
- **|** : show コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。



CHAPTER 2

VNMC の管理

この章では、Virtual Network Management Center (VNMC) を管理する手順について説明します。
この章の内容は、次のとおりです。

- [「VNMC のリポート」 \(P.2-1\)](#)
- [「システムの更新」 \(P.2-2\)](#)
- [「ホスト名の設定」 \(P.2-3\)](#)
- [「VNMC の復元」 \(P.2-4\)](#)
- [「サービスの使用」 \(P.2-5\)](#)
- [「ファイルおよびアプリケーションの管理」 \(P.2-10\)](#)
- [「セキュリティの管理」 \(P.2-14\)](#)
- [「ネットワーク インターフェイスの管理」 \(P.2-15\)](#)
- [「ターミナルセッションパラメータの設定」 \(P.2-19\)](#)
- [「システム情報の表示」 \(P.2-21\)](#)

VNMC のリポート

VNMC をリポートできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、[「VNMC CLI の基本コマンド」 \(P.1-8\)](#) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. `connect local-mgmt`
2. `reboot`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect local-mgmt</code> Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	<code>reboot</code> Example: vnmc(local-mgmt)# reboot	VNMC をリブートします。

例

次に、VNMC をリブートする例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# reboot
The VM will be rebooted. Are you sure? (yes/no): yes
Rebooting...
Broadcast message from root (pts/0) (Thu Sep 30 01:52:25 2010):
The system is going down for reboot NOW!
vnmc(local-mgmt)#
```

システムの更新

システムを更新できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. `connect local-mgmt`
2. `update {bootflash: | ftp: | scp: | sftp: | volatile:} <uri>`



(注) TFTP を使用してシステムを更新しないでください。

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect local-mgmt</code> Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	<code>update</code> Example: vnmc(local-mgmt) # update bootflash:/VNMC.2.0.bin	システムを更新します。

例

次の例は、システムを更新する方法を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(local-mgmt) # update bootflash:/VNMC.2.0.bin
```



(注)

前の例で使用したファイル VNMC.2.0.bin はリリース済み .bin ファイルです。

ホスト名の設定

ホスト名を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。



注意

ホスト名を変更すると、変更の影響をユーザに警告することを目的に、新しい証明書が生成されません。VM Manager 拡張ファイルを再びエクスポートし、vCenter にインストールする必要があります。証明書がインストールされているすべての Web ブラウザクライアントに、新しい証明書のプロンプトが表示されます。

CLI

管理コントローラ

■ VNMC の復元

手順の概要

1. `scope system`
2. `set hostname`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmc# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>set hostname</code> Example: vnmc /system # <code>set hostname testHost</code>	ホスト名を設定します。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: vnmc /system* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ホスト名を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # set hostname testHost
vnmc /system* # commit-buffer
vnmc /system #
```

VNMC の復元

VNMC を復元できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. `connect local-mgmt`
2. `restore {ftp: | scp: | sftp:} <uri-remote-file>`



(注) TFTP を使用して VNMC を復元しないでください。

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnm# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	restore Example: vnm(local-mgmt)# restore scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/483fullstatesftp	VNMC を復元します。

例

次に、VNMC を復元する例を示します。

```
vnm# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnm(local-mgmt)# restore scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/483fullstatesftp
Enter password:
Stopping services
Extracting files
Configuring network
NOTE - the IP address you're restoring from differs from your current IP, you might lose
network connectivity
vnm(local-mgmt)#
```

サービスの使用

データベースを再初期化して、サービスを開始および停止できます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「データベースの再初期化」 (P.2-6)
- 「サービスの再起動」 (P.2-6)
- 「サービスの起動」 (P.2-7)
- 「サービスのステータスの表示」 (P.2-8)
- 「サービスの停止」 (P.2-9)

データベースの再初期化

データベースを再初期化できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service reinit**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	service reinit Example: vnmc(local-mgmt)# service reinit	データベースを再初期化します。

例

次に、データベースを再初期化する例を示します。

```

vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service reinit
The VNMC databases will be reinitialized. Are you sure? (yes/no): yes
Shutting down pmon:                [ OK ]
Starting pmon:                       [ OK ]
vnmc(local-mgmt)#

```

サービスの再起動

サービスを再起動できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service restart**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect local-mgmt Example: vnmcli# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	service restart Example: vnmcli(local-mgmt)# service restart	サービスを再起動します。

例

次に、サービスを再起動する例を示します。

```
vnmcli# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(local-mgmt)# service restart
Shutting down pmon: [ OK ]
Starting pmon: [ OK ]
vnmcli(local-mgmt)#
```

サービスの起動

サービスを起動できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service start**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	service start Example: vnmc(local-mgmt)# service start	サービスを起動します。

例

次に、サービスを起動する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service start
Starting pmon: [ OK ]
vnmc(local-mgmt)#
```

サービスのステータスの表示

サービスのステータスを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service status**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	service status Example: vnmc(local-mgmt)# service status	すべてのサービスのステータスを表示します。

例

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service status
```

```
SERVICE NAME          STATE      RETRY (MAX)  CORE
-----
pmon                   running    N/A          N/A
core-svc_cor_dme       running    0 (4)        no
service-reg-svc_reg_dme running    0 (4)        no
core-svc_cor_secAG     running    0 (4)        no
resource-mgr-svc_res_dme running    0 (4)        no
policy-mgr-svc_pol_dme running    0 (4)        no
sam_cores_mon.sh       running    0 (4)        no
vm-mgr-svc_vmm_dme     running    0 (4)        no
core-svc_cor_controllerAG running    0 (4)        no
vm-mgr-svc_vmm_vmAG   running    0 (4)        no
core-httpd.sh          running    0 (4)        no
core-svc_cor_sessionmgrAG running    0 (4)        no
vnmc(local-mgmt)#
```

サービスの停止

サービスを停止できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service stop**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmcs# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	service stop Example: vnmcs(local-mgmt)# service stop	サービスを停止します。

例

次に、サービスを停止する例を示します。

```
vnmcs# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcs(local-mgmt)# service stop
Shutting down pmon: [ OK ]
vnmcs(local-mgmt)#
```

ファイルおよびアプリケーションの管理

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ファイルのコピー」 (P.2-10)
- 「ファイルの削除」 (P.2-11)
- 「ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理」 (P.2-12)

ファイルのコピー

ファイルをコピーできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **copy {bootflash: | ftp: | scp: | stfp: | tftp: | volatile:} <uri-source-file> {bootflash: | ftp: | scp: | stfp: | tftp: | volatile:} <uri-destination-file>**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	copy Example: vnmc(local-mgmt)# copy scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/vnmc.2.0.bin bootflash:/	ファイルをコピーします。

例

次に、ファイルをコピーする例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# copy scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/vnmc.2.0.bin bootflash:/

Password:
vnmc(local-mgmt)#
```

ファイルの削除

ファイルを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **delete {bootflash: | volatile:} <uri-file>**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmcli# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	delete Example: vnmcli(local-mgmt)# delete bootflash:/vnmcli.2.0.bin	ファイルを削除します。

例

次に、ファイルを削除する例を示します。

```
vnmcli# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(local-mgmt)# delete bootflash:/vnmcli.2.0.bin
Delete bootflash:///vnmcli.2.0.bin? (yes/no): yes
Deleted
vnmcli(local-mgmt)#
```

ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理

ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリを管理できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. `connect local-mgmt`
2. `dir {bootflash: | volatile:}`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect local-mgmt</code> Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	<code>dir</code> Example: vnmc(local-mgmt)# dir bootflash:	

例

次に、ブートフラッシュ ディレクトリをモニタする例を示します。

```

vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(local-mgmt)# dir bootflash:

          19M Jul 28 2011  vnmc-vsgpa.1.2.1b.bin
          19M Jul 28 2011  vnmc-vsmpa.1.2.1b.bin
         431M Aug  8 23:36 vnmc.2.0.3f.bin

Usage for bootflash://

          2694216 KB used
          14554820 KB free
          18187836 KB total
vnmc(local-mgmt)#

```

セキュリティの管理

ここでは、次の内容について説明します。

- 「共有シークレット パスワードの変更」(P.2-14)

共有シークレット パスワードの変更

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **modify shared-secret**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect local-mgmt Example: vnmcli# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ 2	modify shared-secret Example: vnmcli(local-mgmt)# modify shared-secret	共有シークレット パスワードを変更します。 パスワードには少なくとも 8 文字が必要です。

例

次に、共有シークレット パスワードを変更する例を示します。

```
vnmcli# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(local-mgmt)# modify shared-secret
  Enter the Shared Secret :
  Confirm Shared Secret :
vnmcli(local-mgmt)#
```

ネットワーク インターフェイスの管理

この項では、仮想マシン ネットワーク インターフェイスの管理手順を示します。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「IP アドレスの設定」 (P.2-15)
- 「ゲートウェイ アドレスの設定」 (P.2-16)
- 「ネットマスクの設定」 (P.2-17)
- 「ping コマンドの使用」 (P.2-18)

IP アドレスの設定

はじめる前に



注意

この変更は、いったんコミットすると、現在の CLI セッションから切断される場合があります。

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope network-interface mgmt`
2. `set net ip <ip-address>`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope network-interface mgmt</code> Example: <code>vnmc# scope network-interface mgmt</code>	ネットワークインターフェイス モードを開始します。
ステップ2	<code>set net ip</code> Example: <code>vnmc /network-interface # set net ip 209.165.200.230</code>	IP アドレスを設定します。 引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /network-interface* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、IP アドレスを 209.165.200.230 に設定する例を示します。

```
vnm# scope network-interface mgmt
vnm /network-interface # set net ip 209.165.200.230
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnm /network-interface* # commit-buffer
vnm /network-interface#
```

ゲートウェイ アドレスの設定

はじめる前に



注意

このプロパティをリセットするときに、何を実行していたかを明らかにしておく必要があります。いったんリセットすると、ネットワーク内のトラフィックがリセットされます。

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope network-interface mgmt`
2. `set net gw <gateway-address>`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope network-interface mgmt</code> Example: vnm# scope network-interface	ネットワークインターフェイス モードを開始します。
ステップ2	<code>set net gw</code> Example: vnm /network-interface # set net gw 209.165.200.225	ゲートウェイ アドレスを設定します。 引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: vnm /network-interface* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ゲートウェイ アドレスを 209.165.200.225 に設定する例を示します。

```

vnm# scope network-interface mgmt
vnm /network-interface # set net gw 209.165.200.225
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnm /network-interface* # commit-buffer
vnm /network-interface #

```

ネットマスクの設定

はじめる前に



注意

この変更は、いったんコミットすると、現在の CLI セッションから切断される場合があります。

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope network-interface mgmt`
2. `set net netmask <netmask>`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<pre>scope network-interface mgmt</pre> <p>Example: vnm# scope network-interface</p>	ネットワークインターフェイス モードを開始します。
ステップ 2	<pre>set net netmask</pre> <p>Example: vnm /network-interface # set net netmask 255.255.255.0</p>	ネットマスクを設定します。 引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ 3	<pre>commit-buffer</pre> <p>Example: vnm /network-interface* # commit-buffer</p>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ネットマスクを 255.255.255.0 に設定する例を示します。

```

vnm# scope network-interface mgmt
vnm /network-interface # set net netmask 255.255.255.0
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnm /network-interface* # commit-buffer
vnm /network-interface#

```

ping コマンドの使用

デバイスのホスト名または IP アドレスに `ping` を送信して、そのデバイスに接続できるかどうかを確認できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `connect local-mgmt`
2. `ping <hostname or ip-address>`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect local-mgmt</code> Example: vnmcli# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	<code>ping <hostname or ip-address></code> Example: vnmcli(local-mgmt)# ping 171.69.68.1	ホスト名または IP アドレスに <code>ping</code> を実行します。

例

次に、IP アドレス 171.69.68.1 に `ping` を実行する例を示します。

```
vnmcli# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(local-mgmt)# ping 171.69.68.1
PING 171.69.68.1 (171.69.68.1) 56(84) bytes of data:
64 bytes from 171.69.68.1: icmp_seq=1 ttl=249 time=6.06 ms
64 bytes from 171.69.68.1: icmp_seq=2 ttl=249 time=1.55 ms
64 bytes from 171.69.68.1: icmp_seq=3 ttl=249 time=1.77 ms

--- 171.69.68.1 ping statistics ---
3 packets transmitted, 3 received, 0% packet loss, time 2000ms
rtt min/avg/max/mdev = 1.559/3.131/6.060/2.072 ms
```

```
vnmc(local-mgmt) #
```

ターミナル セッション パラメータの設定

ターミナル セッション パラメータを設定できます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ターミナルの長さの設定」(P.2-19)
- 「セッション タイムアウトの設定」(P.2-19)
- 「ターミナルの幅の設定」(P.2-20)

ターミナルの長さの設定

show コマンドの実行中にコンピュータ画面に表示する文字の行数を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **terminal length** <terminal length>

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	terminal length Example: vnmc# terminal length 46	表示する行数を設定します。 有効な値の範囲は、0 ~ 511 です。

例

次に、表示する行数を 46 に設定する例を示します。

```
vnmc# terminal length 46
vnmc#
```

セッション タイムアウトの設定

ターミナル セッション タイムアウトを設定できます。

■ ターミナル セッション パラメータの設定

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **terminal session-timeout** <*terminal session timeout in minutes*>

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	terminal session-timeout Example: vnmc# terminal session-timeout 100	ターミナルセッションタイムアウトを設定します。 有効な値の範囲は 0 ~ 525600 分です。

例

次に、ターミナルセッションタイムアウトを 100 分に設定する例を示します。

```
vnmc# terminal session-timeout 100
vnmc#
```

ターミナルの幅の設定

show コマンドの実行中にコンピュータ画面に表示する文字の列数を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **terminal width** <*terminal width*>

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	terminal width Example: vnmc# terminal width 46	表示する列数を設定します。 有効な値の範囲は、24 ~ 511 です。

例

次に、表示する列数を 46 に設定する例を示します。

```
vnmc# terminal width 46
vnmc#
```

システム情報の表示

システム情報を表示できます。

ここでは、次の内容について説明します。

- [「プロバイダーの表示」 \(P.2-21\)](#)
- [「CLI 情報の表示」 \(P.2-22\)](#)
- [「クロックの表示」 \(P.2-23\)](#)
- [「設定情報の表示」 \(P.2-24\)](#)
- [「ネットワーク インターフェイスの表示」 \(P.2-24\)](#)
- [「システム情報の表示」 \(P.2-25\)](#)
- [「バージョン番号の表示」 \(P.2-26\)](#)
- [「テクニカルサポート情報の表示」 \(P.2-27\)](#)
- [「更新履歴の表示」 \(P.2-28\)](#)
- [「FSM の表示」 \(P.2-31\)](#)

プロバイダーの表示

VNMC プロバイダーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、[「VNMC CLI の基本コマンド」 \(P.1-8\)](#) を参照してください。

CLI

サービス レジストリ

手順の概要

1. `connect service-reg`
2. `show providers`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect service-reg Example: vnmc# connect service-reg	サービス レジストリ CLI を開始します。
ステップ2	show providers Example: vnmc(policy-mgr)# show providers	プロバイダーを表示します。

例

次に、プロバイダーを表示する例を示します。

```
vnmc# connect service-reg
vnmc(service-reg) # show providers

Registered Providers:
  ID: 1001
  Registered Provider IP: 209.165.200.230
  Registered Provider Name: vnmc
  Registered Provider Type: Policy Mgr

  ID: 1002
  Registered Provider IP: 209.165.200.230
  Registered Provider Name: vnmc
  Registered Provider Type: Resource Mgr

  ID: 1004
  Registered Provider IP: 209.165.200.230
  Registered Provider Name: vnmc
  Registered Provider Type: Vm Mgr
```

CLI 情報の表示

VNMC CLI に関する情報を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `show cli {command-status | history | mode-info | shell-type}`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	show cli Example: vnm# show cli mode-info	CLI 情報を表示します。

例

次に、CLI モードの情報を表示する例を示します。

```
vnm# show cli mode-info
Mode: /
Mode Data:
vnm#
```

クロックの表示

システム クロックを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ローカル管理

手順の概要

1. show clock

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	show clock Example: vnm# show clock	クロックを表示します。

例

次に、クロックを表示する例を示します。

```
vnm# show clock
Thu Nov 18 00:58:07 UTC 2010
vnm#
```

設定情報の表示

設定情報を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービス レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`
2. `show configuration`



(注)

手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で `show configuration` コマンドを実行することもできます。ログインした CLI に応じて、CLI ごとに異なる設定情報が返されます。

例

次に、管理コントローラの設定情報を表示する例を示します。

```
vnmc# show configuration
scope system
    set hostname vnmc
exit
scope network-interface mgmt
    set net ip 172.20.28.151 netmask 255.255.255.224 gw 172.20.28.129
exit
vnmc#
```

ネットワーク インターフェイスの表示

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `show network-interface [detail | fsm status | mgmt]`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	show network-interface Example: vnmcli# show network-interface mgmt	ネットワーク インターフェイスを表示します。

例

次に、インターフェイス ID、IP アドレス、ゲートウェイ、およびネットマスクを表形式で表示する例を示します。

```
vnmcli# show network-interface mgmt

VM IP interface:
  ID   OOB IP Addr      OOB Gateway      OOB Netmask
  ----  -
  Mgmt 10.193.33.218    10.193.33.1     255.255.255.0
vnmcli#
```

次に、インターフェイス ID、IP アドレス、ゲートウェイ、およびネットマスクをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmcli# show network-interface detail

VM IP interface:
  ID: Mgmt
  OOB IP Addr: 10.193.33.218
  OOB Gateway: 10.193.33.1
  OOB Netmask: 255.255.255.0
  Current Task:
vnmcli#
```

システム情報の表示

システム情報を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `show system [detail | fsm status]`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	show system Example: vnmcc# show system detail	システム情報を表示します。

例

次に、システムの詳細情報を表示する例を示します。

```
vnmcc# show system detail

Systems:
  Hostname: vnmcc
  Address: 10.193.33.218
  Current Task:
vnmcc#
```

バージョン番号の表示

アプリケーションのバージョン番号を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ローカル管理

手順の概要

1. (任意) **connect local-mgmt**
2. **show version**



(注)

手順 1 は任意です。ローカル管理 CLI で、この **show version** コマンドを実行することもできます。

手順の詳細 (local-mgmt)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect local-mgmt</code> Example: vnmcli# local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	<code>show version</code> Example: vnmcli# show version	バージョン番号を表示します。

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>show version</code> Example: vnmcli# show version	バージョン番号を表示します。

例

次に、管理コントローラ CLI でバージョン番号を表示する例を示します。

```
vnmcli# show version
```

```
Name           Package           Version  GUI
----           -
core            Base System       2.0(0)   2.0(0)
service-reg     Service Registry  2.0(0)   2.0(0)
policy-mgr      Policy Manager    2.0(0)   2.0(0)
resource-mgr    Resource Manager  2.0(0)   2.0(0)
vm-mgr          VM manager        2.0(0)   none
vnmcli#
```

テクニカルサポート情報の表示

テクニカル サポート情報を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **show tech-support**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnm# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	show tech-support Example: vnm# show tech-support	テクニカル サポート情報を表示します。

例

次に、テクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```
vnm# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(local-mgmt)# show tech-support
Initiating tech-support information on VNMC-Tech-Docs.Cisco.com
All tech-support tasks are completed.
The detailed tech-support information is located at volatile:///20101130121144-V
NMC-Tech-Docs.Cisco.com-techsupport.tgz
vnm(local-mgmt)#
```

更新履歴の表示

システム イメージの更新履歴を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **show update-history**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	show update-history Example: vnmc(local-mgmt)# show update-history	システム イメージの更新履歴を表示します。

例

次に、システム イメージの更新履歴を表示する例を示します。

```

vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(local-mgmt)# show update-history
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - Starting Apache Update
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for httpsCert
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for httpsCACert
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for combinedCert
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for keyFile
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for unsecureport
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for secureport
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for commProto
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for hn
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - found for domain
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - Cannot find necessary cert values, skipping until setup has
been run
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 - Completed Apache Update
Thu Aug 9 02:05:01 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 02:06:30 UTC 2012 - Cleaning up extracted files
Thu Aug 9 02:06:30 UTC 2012 - Cleaning up bin file

```

```

Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - Starting Apache Update
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found /opt/cisco/cert/CACertificate.pem for httpsCert
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found /opt/cisco/cert/CACertificate.pem for httpsCACert
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found /opt/cisco/cert/Combined.pem for combinedCert
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found /opt/cisco/cert/privKey.pem for keyFile
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found 80 for unsecureport
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found 443 for secureport
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found HTTPS for commProto
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found vnmc for hn
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - found cisco.com for domain
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - Updating httpd.conf for core
dos2unix: converting file /opt/cisco/core/apache/conf/httpd.conf to UNIX format ...
dos2unix: converting file /opt/cisco/core/apache/conf/httpd.conf to UNIX format ...
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - Updating httpd-ssl.conf for core
dos2unix: converting file /opt/cisco/core/apache/conf/extra/httpd-ssl.conf to UNIX format
...
dos2unix: converting file /opt/cisco/core/apache/conf/extra/httpd-ssl.conf to UNIX format
...
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 - Completed Apache Update
Thu Aug 9 17:05:54 UTC 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/sysconfig/iptables-config to UNIX format ...
dos2unix: converting file /etc/sysconfig/clock to UNIX format ...
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - filename =
messages
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - Finished logrotate mgmt
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - size = 4194303
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 - Finished logrotate mgmt
Thu Aug 9 17:09:16 UTC 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/sysconfig/clock to UNIX format ...
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - filename =
messages
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - Finished logrotate mgmt

```

```

Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - size = 4194303
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 -
-----
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 - Finished logrotate mgmt
Thu Aug 9 18:05:57 UTC 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/sysconfig/clock to UNIX format ...
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 -
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - filename =
messages
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 -
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - Finished logrotate mgmt
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 -
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 -
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - Starting logrotate mgmt: modify for syslog - size = 4194303
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 -
-----
dos2unix: converting file /etc/logrotate.d/syslog to UNIX format ...
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 -
-----
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 - Finished logrotate mgmt
Mon Aug 13 17:49:16 PDT 2012 -
-----
vnmc(local-mgmt)#

```

FSM の表示

FSM を表示できます。FSM とは、有限状態マシンのことです。FSM を使用して、設定またはインベントリ タスクの進捗状況やステータスを追跡します。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **scope system**
2. **show fsm {status | task}**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	show fsm Example: vnmcc /system # show fsm status	FSM を表示します。

例

次に、FSM のステータスを表示する例を示します。

```
vnmcc# scope system
vnmcc /system # show fsm status

FSM 1:
  Remote Result: Not Applicable
  Remote Error Code: None
  Remote Error Description:
  Status: 0
  Previous Status: 0
  Timestamp: Never
  Try: 0
  Progress (%): 100
  Current Task:
vnmcc /system #
```



CHAPTER 3

ファイルバックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理

この章では、ファイルバックアップと管理データの管理手順を示します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元」 (P.3-1)
- 「ファイルのバックアップの操作」 (P.3-3)
- 「管理データのエクスポートおよびインポートの使用」 (P.3-14)

Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元

バックアップ設定には、設定とそれに関連する詳細などのすべてのバックアップが含まれています。これは、バイナリ バックアップです。

Cisco VNMC ソフトウェアをバックアップ設定に復元するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco VNMC 仮想マシン (VM) をインストールします。

詳細については、『Cisco Virtual Security Gateway, Release 4.2(1)VSG1(1)』および『Cisco Virtual Network Management Center, Release 2.0 Installation Guide』を参照してください。



(注) 既存の VNMC ソフトウェアを復元する場合、手順 1 の実行は任意です。

ステップ 2 Cisco VSG ポリシー エージェントをアンインストールします。

このタスク用の Cisco VSG コンソールにセキュア シェルを接続します。このステップではトラフィックが中断されることはありません。

```
vsg# conf t
vsg (config)# vnm-policy-agent
vsg (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```



(注) 復元する Cisco VNMC に関連付けたすべての Cisco VSG で、この手順を実行します。

ステップ 3 ASA 1000V ポリシー エージェントをディセーブルにします。

このタスク用の ASA 1000V コンソールにセキュア シェルを接続します。

```
ciscoasa> enable
Password:
```

```
ciscoasa# configure terminal
ciscoasa(config)# no vnmcm policy-agent
```



(注) 復元する Cisco VNMCM に関連付けたすべての ASA 1000V で、この手順を実行します。

ステップ 4 VSM ポリシー エージェントをアンインストールします。

このタスク用の VSM コンソールにセキュア シェルを接続します。このステップではトラフィックが中断されることはありません。

```
vsm# conf t
vsm (config)# vnm-policy-agent
vsm (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```



(注) 復元する Cisco VNMCM に関連するすべての Cisco VSM に対して次の手順を実行します。

ステップ 5 Cisco VNMCM データベースを復元します。

このタスク用の Cisco VNMCM CLI にセキュア シェルを接続します。Cisco VNMCM バックアップの場所に応じて、ファイル転送プロトコル (FTP)、セキュア コピー (SCP)、またはセキュア ファイル転送プロトコル (SFTP) を使用して復元します。

```
vnmcm# connect local-mgmt
vnmcm(local-mgmt)# restore scp://username@server/pathtofile
```



(注) TFTP を使用してバックアップおよび復元の操作を実行しないでください。

ステップ 6 Cisco VNMCM GUI で、[Administration] > [Service Registry] > [Clients] を選択し、[Work] ペインで次の手順に進みます。

- a. 登録された各 VSM で、動作ステータスに lost-visibility と表示されるまで待ちます。
- b. 各 VSM を選択し、[Delete Client] アイコンをクリックします。

ステップ 7 Cisco VNMCM GUI で [Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] を選択し、削除した VSM が表示されていないことを確認します。

ステップ 8 VSM ポリシー エージェントを再インストールします。



(注) VSM ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、新しいソフトウェアをインストールしてください。

```
VSM# conf t
VSM (config)# vnm-policy-agent
VSM (config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmcm-vsmpa.2.0.1g.bin
```

ステップ 9 すべての VSM がサービス レジストリに登録され、[Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] に表示されるまで待ちます。

ステップ 10 Cisco VSG ポリシー エージェントを再インストールします。



(注) Cisco VSG ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、ここで新しいソフトウェアをインストールします。

```
VSG# conf t
VSG (config)# vnm-policy-agent
VSG (config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmc-vsgpa.1.3.1c.bin
```

ステップ 11 ASA 1000V ポリシー エージェントをイネーブルにします。

```
ciscoasa> enable
Password:
ciscoasa# configure terminal
ciscoasa (config)# vnmc policy-agent
ciscoasa (config-vnmc-policy-agent)# registration host n.n.n.n
ciscoasa (config-vnmc-policy-agent)# shared-secret MySharedSecret
```

ステップ 12 復元プロセスの完了後、次のステータスを確認します。



(注) セットアップ環境により、復元プロセスに数分を要する場合があります。

- Cisco VSG CLI で、設定が以前の状態に復元されていることを確認します。
- Cisco ASA 1000V で、設定が以前の状態に復元されていることを確認します。
- Cisco VNMC GUI で、オブジェクトおよびポリシーが以前の状態に復元されていることを確認します。

ファイルのバックアップの操作

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[ファイルのバックアップの作成](#)」(P.3-3)
- 「[ファイルバックアップの削除](#)」(P.3-4)
- 「[ファイルバックアップの表示](#)」(P.3-5)
- 「[ファイルバックアップのイネーブル化](#)」(P.3-6)
- 「[ファイルバックアップのディセーブル化](#)」(P.3-7)
- 「[ファイルバックアップの属性の使用](#)」(P.3-8)

ファイルのバックアップの作成

ファイルのバックアップを作成できます。



(注) TFTP を使用してデータをバックアップしないでください。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create backup** {ftp:<>//user@location/file> | scp:<>//user@location/file> | sftp:<>//user@location/file>} full-state {disabled | enabled}
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create backup Example: vnmcli /system # create backup ftp://de@testhostname/testfile full-state enabled	ファイル バックアップを作成します。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイル バックアップを作成する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # create backup ftp://de@testhostname/testfile full-state enabled

Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイル バックアップの削除

ファイルのバックアップを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **delete backup** <hostname or ip-address>

3. commit-buffer

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	delete backup Example: vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイル バックアップを削除します。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ファイル バックアップを削除する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # delete backup testhostname
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

ファイル バックアップの表示

ファイル バックアップのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **show backup**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	show backup Example: vnmcli /system # show backup	ファイルバックアップのリストを表示します。

例

次に、ファイルバックアップのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # show backup
```

```
Backup:
  Hostname      Type      User      Protocol Administrative State  Description
  -----
  testhostname  Full State testOne   Ftp      Enabled
  testhostname2 Full State testTwo   Ftp      Enabled
vnmcli /system #
```

ファイルバックアップのイネーブル化

ファイルのバックアップをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname or ip-address>
3. **enable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnm /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	enable Example: vnm /system/backup # enable	バックアップをイネーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ファイルバックアップをイネーブルにする例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # scope backup testhostname
vnm /system/backup # enable

Password:
vnm /system/backup* # commit-buffer
vnm /system/backup #
```

ファイルバックアップのディセーブル化

ファイルのバックアップをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname or ip-address>
3. **disable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnmcli /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnmcli /system/backup # disable	バックアップをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ファイルバックアップをディセーブルにする例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # disable

Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップの属性の使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ファイルバックアップの説明属性の設定」(P.3-8)
- 「ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定」(P.3-9)
- 「ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定」(P.3-10)
- 「ファイルバックアップのリモートファイル属性の設定」(P.3-11)
- 「ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定」(P.3-12)
- 「ファイルバックアップに対するユーザ属性の設定」(P.3-13)

ファイルバックアップの説明属性の設定

説明属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname or ip-address>
3. **set descr** <description>
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnmcli /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	set descr Example: vnmcli /system/backup # set descr testAll	説明属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、説明属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set descr testAll
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定

パスワード属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname or ip-address>`
3. `set password`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmcli /system # <code>scope backup</code> testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set password</code> Example: vnmcli /system/backup # <code>set password</code>	パスワード属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、パスワード属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set password
```

```
Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定

リモート ファイル名を設定できます。



(注) TFTP を使用してデータをバックアップしないでください。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname or ip-address>
3. **set protocol** {ftp | scp | sftp}
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnmcli /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	set protocol Example: vnmcli /system/backup # set protocol scp	プロトコル属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、プロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set protocol scp
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップのリモート ファイル属性の設定

リモート ファイル属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname or ip-address>`
3. `set remote-file <remote file full path>`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmcli /system # <code>scope backup</code> testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set remote-file</code> Example: vnmcli /system/backup # <code>set remote-file</code> /directory/file_a	リモート ファイル属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート ファイル属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set remote-file /directory/file_a
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname or ip-address>`
3. `set type {full-state}`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmcli /system # <code>scope backup</code> testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set type</code> Example: vnmcli /system/backup # <code>set type</code> full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、タイプ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set type full-state
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname or ip-address>`
3. `set user <user-name>`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnm# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnm /system # <code>scope backup</code> testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set user</code> Example: vnm /system/backup # <code>set user techs</code>	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnm /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # scope backup testhostname
vnm /system/backup # set user techs
vnm /system/backup* # commit-buffer
vnm /system/backup #
```

管理データのエクスポートおよびインポートの使用

データ エクスポートには設定だけが含まれます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「管理データのエクスポート サービスの作成」 (P.3-15)
- 「管理データのエクスポート サービスの削除」 (P.3-16)
- 「管理データのエクスポート サービスの表示」 (P.3-17)
- 「管理データのエクスポート サービスのイネーブル化」 (P.3-17)
- 「管理データのエクスポート サービスのディセーブル化」 (P.3-18)
- 「管理データのインポート サービスの作成」 (P.3-19)

- 「管理データのインポート サービスの削除」 (P.3-20)
- 「管理データのインポート サービスの表示」 (P.3-21)
- 「管理データのインポート サービスのイネーブル化」 (P.3-22)
- 「管理データの属性の使用」 (P.3-24)

管理データのエクスポート サービスの作成

VNMC 管理データのエクスポート サービスを作成できます。



(注) TFTP を使用してエクスポートおよびインポートの操作を実行しないでください。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create export** {ftp:<>//user@location/file> | scp:<>//user@location/file> | sftp:<>//user@location/file>} {config-all | config-logical | config-system} {disabled | enabled}
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create export Example: vnmcli /system # create export ftp://de@testhostname/PA12 config-all enabled	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスを作成する例を示します。

```
vnmcli# scope system
```

```

vnmcli /system # create export ftp://de@testhostname/PA12 config-all enabled

Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #

```

管理データのエクスポート サービスの削除

管理データのエクスポート サービスを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **delete export** <hostname or ip-address>
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	delete export Example: vnmcli /system # delete export testhostname	エクスポート サービスを削除します。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスを削除する例を示します。

```

vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete export testhostname
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #

```

管理データのエクスポート サービスの表示

エクスポート サービスのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `show export`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmc# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>show export</code> Example: vnmc /system # <code>show export</code>	エクスポート サービスのリストを表示します。

例

次に、エクスポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # show export
```

Management Data Export:

```

-----
Hostname      User          Protocol Data Export Type Administrative State Description
-----
testhostname  test         Ftp      Config All      Enabled
testhostname2 test         Ftp      Config System   Enabled
vnmc /system #
```

管理データのエクスポート サービスのイネーブル化

管理データのエクスポート サービスをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or ip-address>
3. **enable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	enable Example: vnmcli /system/export # enable	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export testhostname
vnmcli /system/export # enable

Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

管理データのエクスポート サービスのディセーブル化

管理データのエクスポート サービスをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or ip-address>
3. **disable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnmcli /system/export # disable	管理データのエクスポート サービスをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope export testhostname
vnmcli /system/export # disable
```

```
Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

管理データのインポート サービスの作成

VNMC 管理データのインポート サービスを作成できます。



(注)

TFTP を使用してエクスポートおよびインポートの操作を実行しないでください。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create import** {ftp:<://user@location/file> | scp:<://user@location/file> | sftp:<://user@location/file>} {merge} {disabled | enabled}
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create import Example: vnmcli /system # create import ftp://de@testhostname/PA12 merge enabled	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのインポート サービスを作成する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # create import ftp://de@testhostname/PA12 merge enabled

Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

管理データのインポート サービスの削除

管理データのインポート サービスを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `delete import <hostname or ip-address>`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>delete import</code> Example: vnmcli /system # <code>delete import testhostname</code>	インポート サービスを削除します。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、インポート サービスを削除する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete import testhostname
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

管理データのインポート サービスの表示

インポート サービスのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `show import`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	show import Example: vnmcli /system # show import	インポート サービスのリストを表示します。

例

次に、インポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # show import
```

Management Data Import:

Hostname	User	Protocol	Data Import Action	Administrative State	Description
testhostname	test	Ftp	Replace	Enabled	
testhostname2	test	Ftp	Replace	Enabled	

```
vnmcli /system #
```

管理データのインポート サービスのイネーブル化

管理データのインポート サービスをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** <hostname or ip-address>
3. **enable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnm /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	enable Example: vnm /system/import # enable	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnm /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのインポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # scope import testhostname
vnm /system/import # enable

Password:
vnm /system/import* # commit-buffer
vnm /system/import #
```

管理データのインポート サービスのディセーブル化

管理データのインポート サービスをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import <hostname or ip-address>**
3. **disable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmc /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnmc /system/import # disable	管理データのインポート サービスをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmc /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのインポート サービスをディセーブルにする例を示します。

```
vnm# scope system
vnmc /system # scope import testhostname
vnmc /system/import # disable
```

```
Password:
vnmc /system/import* # commit-buffer
vnmc /system/import #
```

管理データの属性の使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「インポートに対するアクション属性の設定」 (P.3-24)
- 「エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定」 (P.3-25)
- 「エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定」 (P.3-27)
- 「エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定」 (P.3-28)
- 「エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィックス属性の設定」 (P.3-30)
- 「エクスポートのタイプ属性の設定」 (P.3-31)
- 「エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定」 (P.3-32)

インポートに対するアクション属性の設定

アクション属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** <hostname or ip-address>
3. **set action** {merge}
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set action Example: vnmcli /system/import # set action merge	アクション属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、アクション属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import testhostname
vnmcli /system/import # set action merge
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定

説明属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or ip-address> | **scope import** <hostname or ip-address>
3. **set descr** <description>
4. **commit- buffer**

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcc /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	set descr Example: vnmcc /system/export # set descr testA	説明属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcc /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcc /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set descr Example: vnmcc /system/import # set descr testA	説明属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcc /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポートモードで説明属性を設定する例を示します。

```

vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export testhostname
vnmcli /system/backup # set descr testA
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup* #

```

エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定

パスワード属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or ip-address> | scope import <hostname or ip-address>`
3. `set password`
4. `commit-buffer`

手順の詳細 (エクスポートモード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# scope system	システムモードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポートモードを開始します。
ステップ3	<code>set password</code> Example: vnmcli /system/export # set password	パスワード属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set password Example: vnmcli /system/import # set password	パスワード属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、インポート モードでパスワード属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope import testhostname
vnmcli /system/import # set password

Password:
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定

プロトコル属性を設定できます。



(注) TFTP を使用してエクスポートおよびインポートの操作を実行しないでください。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or ip-address> | **scope import** <hostname or ip-address>
3. **set protocol** {ftp | scp | sftp}
4. **commit-buffer**

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	set protocol Example: vnmcli /system/export # set protocol ftp	パスワード属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set protocol Example: vnmcli /system/import # set protocol ftp	プロトコル属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、インポート モードでプロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import testhostname
vnmcli /system/import # set protocol ftp
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィックス属性の設定

リモート ファイルのプレフィックス属性を、そのリモート ファイルのプレフィックス (`/pathtofile/file`) またはフルパス (`/pathtofile/file.tgz`) に設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or ip-address> | scope import <hostname or ip-address>`
3. `set remote-file-prefix </path/filename> | </path/filename.tgz>`
4. `commit-buffer`

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: <code>vnmc /system # scope export testhostname</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set remote-file-prefix</code> Example: <code>vnmc /system/export # set remote-file-prefix /test</code>	リモート ファイルプレフィックス属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/export* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set remote-file-prefix Example: vnmcli /system/import # set remote-file-prefix /test	リモート ファイル プレフィックス属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポート モードでリモート ファイル プレフィックス属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export testhostname
vnmcli /system/export # set remote-file-prefix /test
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

エクスポートのタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or ip-address>
3. **set type** <hostname or ip-address> {config-all | config-logical | config-system}
4. **commit-buffer**

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	set type Example: vnmcli /system/export # set type config-all	タイプ属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、エクスポート モードでタイプ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope export testhostname
vnmcli /system/export # set type config-all
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or ip-address> | **scope import** <hostname or ip-address>
3. **set user** <user-name>
4. **commit-buffer**

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnm /system # scope export testhostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	set user Example: vnm /system/export # set user techs	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnm /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnm /system # scope import testhostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set user Example: vnm /system/import # set user techs	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnm /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、インポート モードでユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # scope import testhostname
vnm /system/import # set user techs
vnm /system/import* # commit-buffer
vnm /system/import #
```




CHAPTER 4

ログ、イベント、および障害の管理

この章では VNMC 管理ロギングを管理する手順について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「管理ログの使用」(P.4-1)
- 「障害の確認」(P.4-6)
- 「監査ログの表示」(P.4-7)
- 「イベントの表示」(P.4-8)
- 「障害の表示」(P.4-10)

管理ログの使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ログの重大度レベルとログ サイズの設定」(P.4-1)
- 「管理ログ レベルのリセット」(P.4-2)
- 「管理ログ パラメータの保存」(P.4-3)
- 「管理ログの表示」(P.4-4)

ログの重大度レベルとログ サイズの設定

ログの重大度レベルとログ サイズを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ポリシー マネージャ
リソース マネージャ
サービス レジストリ
仮想マシン マネージャ

手順の概要



(注)

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`

手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で、`set` コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. `scope monitoring`

3. `scope sysdebug`

4. `scope mgmt-logging`

5. `set [all { crit | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warn } | file size <size> | module <Name> { crit | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warn }]`

例

次に、リソース マネージャ CLI ですべてのロギング ファイルに `critical` の重大度レベルを指定する例を示します。

```

vnmcli# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(resource-mgr)# scope monitoring
vnmcli(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # set all crit
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #

```

管理ログ レベルのリセット

管理ログ レベルをリセットできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービス レジストリ

仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`



(注)

手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で `reset` コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. `scope monitoring`
3. `scope sysdebug`
4. `scope mgmt-logging`
5. `reset`

例

次に、リソース マネージャ CLI で管理ロギング レベルをリセットする例を示します。

```
vnm# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(resource-mgr)# scope monitoring
vnm(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnm(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnm(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # reset
vnm(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #
```

管理ログ パラメータの保存

管理ログ パラメータを保存できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ポリシー マネージャ
リソース マネージャ
サービス レジストリ
仮想マシン マネージャ

手順の概要



(注)

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`

手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で、`save` コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. `scope monitoring`
3. `scope sysdebug`
4. `scope mgmt-logging`
5. `save`

例

次に、リソース マネージャ CLI で保存する例を示します。

```

vnm# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(resource-mgr)# scope monitoring
vnm(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnm(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnm(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # save
vnm(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #

```

管理ログの表示

管理ログを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービス レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**



(注) 手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で、**show** コマンドを実行することもできます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのログを制御できます。

2. **scope monitoring**
3. **scope sysdebug**
4. **scope mgmt-logging**
5. **show**

例

次に、リソース マネージャ CLI ですべてのログ ファイルを表示する例を示します。

```

vnm# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac Copyright (c) 2002-2012, Cisco Systems, Inc. All
rights reserved.
The copyrights to certain
works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL)Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

```

```

vnm(resource-mgr)# scope monitoring
vnm(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnm(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnm(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # show

```

```

Log File Size Limit:          10000000

Name                          Level  Default Level
-----
agdriver                      Info   Info
ape                           Info   Info
app_sam_cim                   Info   Info
app_sam_dme                   Info   Info
app_sam_ucsmAG               Info   Info
app_unittest_testsvc         Info   Info
auth                          Info   Info
autocond                     Info   Info
bio_stream                    Info   Info
callhome                     Info   Info
catalog                       Info   Info
char_stream                   Info   Info
core_transactor               Info   Info
core_utils                    Info   Info
doer                          Info   Info
event_                        Info   Info
event_channel                 Info   Info
exception_handling            Info   Info
fault                         Info   Info

```

```

filter                Info  Info
fsm                   Info  Info
fw                    Info  Info
http_client           Info  Info
log                   Info  Info
logical               Info  Info
meta                  Info  Info
method                Info  Info
mgmt                  Info  Info
mgmtif                Info  Info
mit_init              Info  Info
mo                    Info  Info
mo_qualifier          Info  Info
mod_nuova              Info  Info
net                   Info  Info
org                   Info  Info
os                    Info  Info
pam_proxy             Info  Info
pool                  Info  Info
proc_app              Info  Info
prt                   Info  Info
sam_extXMLApi_        Info  Info
sam_sec                Info  Info
sam_sessionmgrAG      Info  Info
sam_ucssh             Info  Info
smbios                Info  Info
snmp                  Info  Info
solprot               Info  Info
stats                 Info  Info
sysdebug              Info  Info
top                   Info  Info
tx                    Info  Info
xml_parser            Info  Info
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #

```

障害の確認

障害を確認できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービス レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`



(注) 手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI では **acknowledge fault** コマンドを実行できます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせの障害を確認できます。

1. **scope monitoring**
2. **acknowledge fault <fault-id>**
3. **commit-buffer**

例

次に、管理コントローラ CLI で障害の確認応答を行う例を示します。

```
vnmc# scope monitoring
vnmc /monitoring # acknowledge fault 10194
vnmc /monitoring* # commit-buffer
vnmc /monitoring #
```

監査ログの表示

監査ログのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ポリシー マネージャ
リソース マネージャ
サービス レジストリ
仮想マシン マネージャ

手順の概要



(注) 手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI では **show audit logs** コマンドを実行できます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせの監査ログを表示できます。

2. **scope monitoring**
3. **show audit-logs**

例

次に、管理コントローラ CLI で監査ログのリストを表示する方法を示します。

```
vnmc# scope monitoring
vnmc /monitoring # show audit-logs
```

```

Audit trail logs:
  Creation Time      User      ID      Action      Description
  -----
2010-11-29T14:56:29.195
                        admin      10615 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.195
                        admin      10616 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.195
                        admin      10617 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10607 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10608 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10609 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10610 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10611 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10612 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10613 Modification sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10614 Modification sysdebug mgmt log
vnmcli /monitoring #

```

イベントの表示

イベントのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

```

管理コントローラ
ポリシー マネージャ
リソース マネージャ
サービス レジストリ
仮想マシン マネージャ

```

手順の概要

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`

(注) 手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI では `show event` コマンドを実行できます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせのイベントを確認できます。

1. `scope monitoring`2. `show event`

例

次に、ポリシー マネージャ CLI でイベントのリストを表示する例を示します。

```

vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope monitoring
vnm(policy-mgr) /monitoring # show event

Creation Time          ID          Code          Description
-----
2010-11-22T12:09:26.369  10161 E4194467 [FSM:END]: Resolve Mgmt Controller Fsm
(FSM:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm)
2010-11-22T12:09:26.368  10160 E4194465 [FSM:STAGE:END]: Resolve Mgmt Control
ler FSM Execute (FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:26.367  10158 E4194465 [FSM:STAGE:STALE-SUCCESS]: Resolve Mgt
mt Controller FSM Execute (FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:
Execute)
2010-11-22T12:09:26.018  10156 E4194465 [FSM:STAGE:ASYNC]: Resolve Mgmt Contr
oller FSM Execute (FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:26.017  10153 E4194447 [FSM:END]: Service Registration Fsm (F
SM:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm)
2010-11-22T12:09:26.017  10154 E4194464 [FSM:BEGIN]: Resolve Mgmt Controller
Fsm (FSM:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm)
2010-11-22T12:09:26.017  10155 E4194464 [FSM:STAGE:END]: (FSM-STAGE:sam:dme:O
bserveObservedResolveControllerFsm:begin)
2010-11-22T12:09:26.014  10148 E4194445 [FSM:STAGE:END]: Register FSM Execute
(FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:25.991  10144 E4194445 [FSM:STAGE:STALE-SUCCESS]: Register F
SM Execute (FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:25.558  10143 E4194445 [FSM:STAGE:ASYNC]: Register FSM Execu
te (FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:25.557  10141 E4194444 [FSM:BEGIN]: Service Registration Fsm
(FSM:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm)
2010-11-22T12:09:25.557  10142 E4194444 [FSM:STAGE:END]: (FSM-STAGE:sam:dme:E
xtpolEpRegisterFsm:begin)
vnm(policy-mgr) /monitoring #

```

障害の表示

障害のリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービス レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`



(注)

手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI では `show fault` コマンドを実行できます。各 CLI を使用して、さまざまな組み合わせの障害を表示できます。

2. `scope monitoring`
3. `show fault`

例

次に、管理コントローラ CLI で障害のリストを表示する方法を示します。

```
vnmc# scope monitoring
vnmc /monitoring # show fault
```

```
Severity Code      Last Transition Time      ID      Description
-----
Critical F999556 2010-11-24T18:38:17.345    20133 [FSM:FAILED]: internal system
backup (FSM:sam:dme:MgmtBackupBackup)
Warning  F16516 2010-11-24T18:38:17.344    20131 [FSM:STAGE:FAILED]: internal system
backup (FSM-STAGE:sam:dme:MgmtBackupBackup:upload)
Warning  F77956 2010-11-24T18:38:17.344    20129 [FSM:STAGE:REMOTE-ERROR]: Result:
end-point-failed Code: unspecified Message: Permission denied
(sam:dme:MgmtBackupBackup:upload)
vnmc /monitoring #
```




CHAPTER 5

デバイス プロファイルの管理

この章では、デバイス プロファイルを管理する手順について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「DNS サーバのホスト名の作成」 (P.5-1)
- 「NTP サーバのホスト名の作成」 (P.5-3)
- 「DNS サーバのホスト名の削除」 (P.5-4)
- 「NTP サーバのホスト名の削除」 (P.5-5)
- 「ドメイン名の変更」 (P.5-7)
- 「デバイス プロファイルの表示」 (P.5-8)
- 「コア ファイル ポリシーの設定」 (P.5-9)
- 「障害ポリシーの設定」 (P.5-11)
- 「ログ ポリシーの設定」 (P.5-12)
- 「syslog ポリシーの設定」 (P.5-13)
- 「時間帯の設定」 (P.5-15)
- 「DNS サーバの表示」 (P.5-16)
- 「ドメイン名の表示」 (P.5-17)
- 「NTP サーバの表示」 (P.5-19)

DNS サーバのホスト名の作成

ドメイン ネーム サーバ (DNS) のホスト名を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`

2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **create dns** <ip-address>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	create dns Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # create dns 209.165.200.225	DNS ホスト名を作成します。 a.b.c.d 形式の IP アドレスとしてホスト名を指定します。
ステップ 5	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、DNS ホスト名を作成する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # create dns 209.165.200.225
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

NTP サーバのホスト名の作成

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **create ntp-server** <server-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	create ntp-server Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # create ntp-server networkTime	NTP サーバのホスト名を作成します。
ステップ 5	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、NTP サーバのホスト名を作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
```

```

Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

```

```

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # create ntp-server networkTime
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

DNS サーバのホスト名の削除

ドメイン ネーム サーバ (DNS) のホスト名を削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **delete dns <ip-address>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	scope deviceprofile default Example vnmcc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	delete dns Example vnmcc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete dns 209.165.200.225	DNS ホスト名を削除します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、DNS サーバのホスト名を削除する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete dns 209.165.200.225
vnmcc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

NTP サーバのホスト名の削除

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名を削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**

3. `scope deviceprofile <profile-name>`
4. `delete ntp-server<server-name>`
5. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ 3	<code>scope deviceprofile</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default</code>	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<code>delete ntp-server</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete ntp-server networkTime</code>	NTP サーバのホスト名を削除します。
ステップ 5	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、NTP サーバのホスト名を削除する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete ntp-server networkTime
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

ドメイン名の変更

ドメイン名を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。



注意

ドメイン名を変更すると新しい証明書が生成されますが、そのときに変更の影響がユーザに警告されるようになっています。VM Manager 拡張ファイルを再度エクスポートし、vCenter にインストールする必要があります。証明書がインストールされているすべての Web ブラウザ クライアントに、新しい証明書のプロンプトが表示されます。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** *<profile-name>*
4. **scope domain-name** *<name-of-the-domain-name-entry>*
5. **set domain** *<new-domain-name>*
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	scope domain-name Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # scope domain-name default	ドメイン名モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 5	set domain Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name # set domain testOne	ドメイン名を設定します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ドメイン名を設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # scope domain-name default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name # set domain testOne
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name #
```

デバイス プロファイルの表示

デバイス プロファイルを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **show deviceprofile**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	show deviceprofile Example vnmcli(policy-mgr) /org # show deviceprofile	デバイス プロファイルを表示します。

例

次に、デバイス プロファイルを表示する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # show deviceprofile

Name: default
Core File Policy:
Fault Policy: default
Log File Policy: default
Syslog Policy:
vnmcli(policy-mgr) /org #
```

コア ファイル ポリシーの設定

コア ファイル ポリシーを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **set corefile <policy-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	set corefile Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # set corefile EaCorePA13	コア ファイルのポリシーを設定します。
ステップ 5	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイル ポリシーを設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # set corefile EaCorePA13
```

```

vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

障害ポリシーの設定

障害ポリシーを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **set faultpolicy** <policy-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	set faultpolicy Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set faultpolicy EaFaultPA12	障害ポリシーを設定します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、障害ポリシーを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set faultpolicy EaFaultPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

ログポリシーの設定

ログポリシーを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **set log <policy-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	set log Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # set log EaLogPA12	ログ ポリシーを設定します。
ステップ5	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ログ ポリシーを設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # set log EaLogPA12
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

syslog ポリシーの設定

syslog ポリシーを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **set syslog <policy-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	set syslog Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # set syslog EaSysPA12	syslog ポリシーを設定します。
ステップ 5	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、syslog ポリシーを設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

時間帯の設定

時間帯を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **set timezone** <zone-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。

■ DNS サーバの表示

	コマンド	目的
ステップ4	set timezone Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set timezone pacific	時間帯を設定します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、時間帯を設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set timezone pacific
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

DNS サーバの表示

DNS サーバを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **show dns**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	show dns Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # show dns	DNS サーバを表示します。

例

次に、DNS サーバを表示する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # show dns

Domain Name Servers:
  IP Address: 209.165.200.226
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

ドメイン名の表示

ドメイン名を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

ドメイン名の表示

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **show domain-name**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	show domain-name Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # show domain-name	ドメイン名を表示します。

例

次に、ドメイン名を表示する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

VNMC-Tech-Docs(policy-mgr)# scope org
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org/deviceprofile # show domain-name

Domain Name:
Domain
```

```
-----
Cisco.com
vnmcc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

NTP サーバの表示

NTP サーバを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **show ntp**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmcc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	show ntp Example vnmcc(policy-mgr) /org/deviceprofile # show ntp	NTP サーバを表示します。

例

次に、NTP サーバを表示する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
```

```
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.  
The copyrights to certain works contained in this software are  
owned by other third parties and used and distributed under  
license. Certain components of this software are licensed under  
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU  
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each  
such license is available at  
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and  
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) # scope org  
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default  
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org/deviceprofile # show ntp
```

```
NTP Servers:  
  Name: EaTest  
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```



CHAPTER 6

ポリシーの管理

この章では、ポリシーの管理に関する情報を示します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「コア ファイル ポリシーの使用」 (P.6-1)
- 「障害ポリシーの操作」 (P.6-5)
- 「ログ ポリシーの使用」 (P.6-9)
- 「syslog ポリシーの使用」 (P.6-14)

コア ファイル ポリシーの使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「コア ファイル ポリシーの作成」 (P.6-1)
- 「コア ファイル ポリシーの表示」 (P.6-2)
- 「コア ファイル ポリシーの削除」 (P.6-4)

コア ファイル ポリシーの作成

コア ファイル ポリシーを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `create corefile <policy-name> <transfer-host-name> <file-path> {disabled | enabled}`

5. commit-buffer

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmnc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmnc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example: vnmnc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	create corefile Example vnmnc(policy-mgr) /org/policy # create corefile EaCoreP12 hostname /test enabled	コア ファイル ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 32 です。
ステップ 5	commit-buffer Example: vnmnc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイル ポリシーを作成する例を示します。

```
vnmnc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmnc(policy-mgr)# scope org
vnmnc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmnc(policy-mgr) /org/policy # create corefile EaCoreP12 hostname /test enabled
vnmnc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmnc(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

コア ファイル ポリシーの表示

コア ファイル ポリシーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show corefile**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	show corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # show corefile	コア ファイル ポリシーを表示します。

例

次に、すべてのコア ファイル ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
```

■ コア ファイル ポリシーの使用

```

vnmc(policy-mgr) /org/policy # show corefile

Core File Policy:
  Core File Policy Name: local
  Core File Transfer Host Name: nexthost
  Core File Policy Path: /test
  Core File Policy Admin State: Enabled

  Core File Policy Name: host
  Core File Transfer Host Name: nexthost
  Core File Policy Path: /test
  Core File Policy Admin State: Enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy #

```

コア ファイル ポリシーの削除

コア ファイル ポリシーを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete corefile** *<policy-name>*
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ4	delete corefile Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete corefile EaCoreP12	コア ファイル ポリシーを削除します。
ステップ5	commit-buffer Example: vnmcli(policy-mgr) /org/policy * # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイルを削除する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete corefile EaCoreP12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy #
```

障害ポリシーの操作

ここでは、次の内容について説明します。

- 「障害ポリシーの作成」 (P.6-5)
- 「障害ポリシーの表示」 (P.6-7)
- 「障害ポリシーの削除」 (P.6-8)

障害ポリシーの作成

障害ポリシーを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create faultpolicy** *<policy-name>* *<flap-interval>* {**delete** | **retain**} {*<number-of-days>* | **forever**} {**disabled** | **enabled**}
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	create faultpolicy Example vnm(policy-mgr) /org/policy # create faultpolicy EaFaultPA13 10 retain forever enabled	障害ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 32 です。
ステップ 5	commit-buffer Example: vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、EaFaultPA13 という名前の障害ポリシーを作成する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
```

```

vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # create faultpolicy EaFaultPA13 10 retain forever enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #

```

障害ポリシーの表示

障害ポリシーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show faultpolicy**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	show faultpolicy Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # show faultpolicy	障害ポリシーを表示します。

例

次に、すべての障害ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac

```

```
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.  
The copyrights to certain works contained in this software are  
owned by other third parties and used and distributed under  
license. Certain components of this software are licensed under  
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU  
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each  
such license is available at  
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and  
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```
vnmc(policy-mgr) # scope org  
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy  
vnmc(policy-mgr) /org/policy # show faultpolicy  
  
Fault Policy:  
  Fault Policy Name: default  
  Fault Policy Clear Action: Retain  
  Fault Policy Flap Interval (dd:hh:mm:ss): 00:00:00:10  
  Fault Policy Retention Interval (dd:hh:mm:ss): 10:00:00:00  
  Fault Policy Admin State: Enabled  
  
  Fault Policy Name: EaFaultPA13  
  Fault Policy Clear Action: Retain  
  Fault Policy Flap Interval (dd:hh:mm:ss): 00:00:00:05  
  Fault Policy Retention Interval (dd:hh:mm:ss): 100:00:00:00  
  Fault Policy Admin State: Enabled
```

障害ポリシーの削除

障害ポリシーを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete faultpolicy <policy-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	delete faultpolicy Example vnm(policy-mgr) /org/policy # delete faultpolicy EaFaultPA13	障害ポリシーを削除します。
ステップ5	commit-buffer Example: vnm(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、sysfault という名前の障害ポリシーを削除する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # delete faultpolicy EaFaultPA13
vnm(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy #
```

ログポリシーの使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ログポリシーの作成」 (P.6-10)
- 「ログポリシーの表示」 (P.6-11)

- 「ログポリシーの削除」(P.6-12)

ログポリシーの作成

ログポリシーを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create log** *<policy-name>* *<log-policy-backup-count>* {**critical** | **debug0** | **debug1** | **debug2** | **debug3** | **debug4** | **info** | **major** | **minor** | **warning**} *<log-policy-size>*
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	create log Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # create log EaLogP13 9 critical 10000000	ログポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 32 です。
ステップ 5	commit-buffer Example: vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、EaLogP13 という名前のログ ポリシーを作成する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # create log EaLogP13 9 critical 10000000
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log #

```

ログポリシーの表示

ログポリシーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show log**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。

■ ログポリシーの使用

	コマンド	目的
ステップ3	scope policy Example: vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	show log Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # show log	ログ ポリシーを表示します。

例

次に、すべてのログ ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # show log

Logging Policy:
  Logging Policy Name: LogPA1
  Logging Policy Backup Count: 2
  Logging Policy Level: Debug1
  Logging Policy Size: 10000000
  Logging Policy Admin State: Enabled

  Logging Policy Name: LogPA2
  Logging Policy Backup Count: 1
  Logging Policy Level: critical
  Logging Policy Size: 1000000
  Logging Policy Admin State: Enabled
vnmcli(policy-mgr) /org/policy #
```

ログポリシーの削除

障害ポリシーを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `delete log <policy-name>`
5. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>delete log</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete log EaLogP13</code>	ログ ポリシーを削除します。
ステップ5	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、EaLogP13 という名前のログ ポリシーを削除する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete log EaLogP13
vnmc(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy #

```

syslog ポリシーの使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[syslog ポリシーの作成](#)」 (P.6-14)
- 「[syslog ポリシーの表示](#)」 (P.6-15)
- 「[syslog ポリシーの削除](#)」 (P.6-16)

syslog ポリシーの作成

syslog ポリシーを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create syslog <policy-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	scope policy Example: vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	create syslog Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # create syslog EaSysPA13	syslog ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 32 です。
ステップ5	commit-buffer Example: vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、EaSysPA13 という名前のログ ポリシーを作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # create syslog EaSysPA13
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

syslog ポリシーの表示

syslog ポリシーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**

3. scope policy**4. show syslog**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	show syslog Example vnm(policy-mgr) /org/policy # show syslog	syslog ポリシーを表示します。

例

次に、すべてのログ ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # show syslog

name: default
description: Syslog Service
name: EaSysPA13
description: Syslog Service
vnm(policy-mgr) /org/policy #
```

syslog ポリシーの削除

syslog ポリシーを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete syslog <policy-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	delete syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete syslog EaSysPA13	syslog ポリシーを削除します。
ステップ5	commit-buffer Example: vnmc(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、EaSysPA13 という名前のログ ポリシーを削除する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
```

Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php>

```
vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr)# scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete syslog EaSysPA13
vnmc(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy #
```



CHAPTER 7

コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、およびログ ポリシーの属性の設定

この章では、コア ファイル、障害、およびログ ポリシーの属性に関する情報を示します。

コア ファイル ポリシーの属性	障害ポリシーの属性	ログ ポリシーの属性
管理状態	管理状態	バックアップ カウント
説明	クリア処理	説明
ホスト名	説明	レベル
パス	フラッピング間隔	サイズ
ポート	保持期間	

この章の内容は、次のとおりです。

- 「コア ファイル ポリシーの属性の設定」 (P.7-1)
- 「障害ポリシーの属性の設定」 (P.7-9)
- 「ログ ポリシーの属性の設定」 (P.7-17)

コア ファイル ポリシーの属性の設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「管理状態の設定」 (P.7-1)
- 「説明の設定」 (P.7-3)
- 「ホスト名の設定」 (P.7-5)
- 「パスの設定」 (P.7-6)
- 「ポートの設定」 (P.7-8)

管理状態の設定

管理状態を設定できます。

■ コアファイルポリシーの属性の設定

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope corefile <policy-name>`
5. `set adminstate {disabled | enabled}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope corefile</code> Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コアファイル モードを開始します。
ステップ5	<code>set adminstate</code> Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set adminstate enabled	管理状態を設定します。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理状態を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set adminstate enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

説明の設定

説明を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set descr** *<description>*
6. **commit-buffer**

■ コア ファイル ポリシーの属性の設定

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ5	set descr Example vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile # set descr CoreFilePolicyAgent10	説明を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ポリシー EaCorePA10 に説明を追加する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) # scope policy
vnm(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile # set descr CoreFilePolicyAgent10
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

ホスト名の設定

コア ファイル転送ホスト名を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set hostname** *<host-name>*
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ5	set hostname Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set hostname policy10	ホスト名を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コアファイル転送ホスト名を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr)# scope policy
vnmc(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set hostname policy10
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

パスの設定

コアファイルポリシーのパスを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set path** *<core-file-policy-path>*
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ5	set path Example vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile # set path /test	パスを設定します。 最大文字数は 512 です。
ステップ6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイル ポリシーのパスを設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr)# scope policy
vnm(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile # set path /test
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

ポートの設定

コアファイルポリシーのポート番号を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile <policy-name>**
5. **set port <port-number>**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コアファイル モードを開始します。
ステップ5	set port Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set port 10	ポート番号を設定します。 有効な値の範囲は 1 ~ 65535 です。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイル ポリシーのポート番号を設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) # scope policy
vnm(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile # set port 10
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

障害ポリシーの属性の設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[管理状態の設定](#)」 (P.7-9)
- 「[クリア処理の設定](#)」 (P.7-11)
- 「[説明の設定](#)」 (P.7-12)
- 「[フラッシング間隔の設定](#)」 (P.7-14)
- 「[保持間隔の設定](#)」 (P.7-15)

管理状態の設定

管理状態を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**

5. `set adminstate {disabled | enabled}`

6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope faultpolicy</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。
ステップ5	<code>set adminstate</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set adminstate enabled	管理状態を設定します。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理状態を設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set adminstate enabled
```



```

vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #

```

クリア処理の設定

クリア処理を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**
5. **set clearaction {delete | retain}**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope faultpolicy Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。

障害ポリシーの属性の設定

	コマンド	目的
ステップ5	set clearaction Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set clearaction retain	クリア処理を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

この例は、クリア処理を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set clearaction retain
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

説明の設定

説明を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**

4. `scope faultpolicy <policy-name>`
5. `set descr <description>`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope faultpolicy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12</code>	faultpolicy モードを開始します。
ステップ5	<code>set descr</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set descr FaultPolicy1</code>	説明を設定します。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、障害ポリシー `EaFaultPA12` に説明を追加する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
```

```

vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set descr FaultPolicy1
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #

```

フラッピング間隔の設定

障害ポリシーにフラッピング間隔を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**
5. **set flapinterval <interval>**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope faultpolicy Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ5	set flapinterval Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set flapinterval 3500	フラッピング間隔を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、障害ポリシーのフラッピング間隔を 3500 秒に設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set flapinterval 3500
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

保持間隔の設定

障害ポリシーに保持間隔を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**

4. scope faultpolicy <policy-name>**5. set retentioninterval {<number of days> <number of hours> <number of minutes> <number of seconds> | forever}** 各引数には、次に示す範囲で値を指定する必要があります。

- Days (日数) : 0 ~ 24854
- Hours (時間数) : 0 ~ 23
- Minutes (分数) : 0 ~ 59
- Seconds (秒数) : 0 ~ 59



(注) VNMC CLI で指定する保持間隔の有効範囲は 0 ~ 24854 です。CLI で値を設定すると、VNMC GUI にはその値と同じ値が表示されます。この値を VNMC GUI で編集する場合は 0 ~ 99 の範囲とする必要があります。

6. commit-buffer

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope faultpolicy Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。
ステップ5	set retentioninterval Example vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set retentioninterval 10 00 00 00	保持間隔を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、障害ポリシーの保持間隔を 10 日に設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
```

```
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set retentioninterval 10 00 00 00
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

ログ ポリシーの属性の設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「バックアップ カウントの設定」 (P.7-17)
- 「説明の設定」 (P.7-19)
- 「レベルの設定」 (P.7-20)
- 「サイズの設定」 (P.7-22)

バックアップ カウントの設定

ログ ポリシーにバックアップ カウントを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log <policy-name>**
5. **set backup-count {1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9}**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope log Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ5	set backup-count Example vnm(policy-mgr) /org/policy/log # set backup-count 9	バックアップ カウントを設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、バックアップ カウントを設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnm(policy-mgr) /org/policy/log # set backup-count 9
vnm(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/log #
```


説明の設定

ログ ポリシーに説明を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log** <policy-name>
5. **set descr** <policy-description>
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope log Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ5	set descr Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set descr LogPolicy11	説明を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、説明を設定する例を示します。

```

vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnm(policy-mgr) /org/policy/log # set descr LogPolicy11
vnm(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/log #

```

レベルの設定

ログポリシーにレベルを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log** <policy-name>
5. **set level** {critical | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warning}
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope log Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ5	set level Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set level critical	レベルを設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、レベルを設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set level critical
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log #
```

サイズの設定

ログ ポリシーにサイズを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log <policy-name>**
5. **set size <size>**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope log Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ5	set size Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set size 104857599	サイズを設定します。 有効な値の範囲は 1048576 ~ 104857600 です。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、サイズを設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set size 104857599
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log #
```




CHAPTER 8

syslog ポリシーの属性の設定

この章では、syslog ポリシーおよび syslog ポリシー属性への説明の割り当てに関する情報を示します。syslog ポリシーは属性の集合です。次の 4 つの syslog ポリシー属性があります。

- **console** : コンソール属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- **file** : ファイル属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- **monitor** : モニタ属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- **remote destination** : リモート属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。

属性の作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定の詳細については、以下から該当する項を参照してください。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「[syslog ポリシーへの説明の割り当て](#)」 (P.8-1)
- 「[syslog アラートの送信](#)」 (P.8-3)
- 「[コンソール属性の使用](#)」 (P.8-4)
- 「[ファイル属性の使用](#)」 (P.8-10)
- 「[モニタ属性の使用](#)」 (P.8-16)
- 「[リモート宛先属性の使用](#)」 (P.8-22)

syslog ポリシーへの説明の割り当て

syslog ポリシーにポリシーの説明を割り当てることができます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**

3. **scope policy**
4. **scope syslog** <policy-name>
5. **set descr** <policy-description>
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	set descr Example vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # set descr syslogPolicy12	ポリシーの説明を設定します。 syslog ポリシーの説明に使用できる最大文字数は 256 です。
ステップ 6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、説明 syslogPolicy12 を syslog ポリシー EaSysPA12 に割り当てる例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
```



```

vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set descr syslogPolicy12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

syslog アラートの送信

syslog メッセージを送信できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `send-syslog {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings} {syslog-message}`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	send-syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # send-syslog critical messagetext	syslog メッセージを送信します。

例

次に、syslog メッセージを送信する例を示します。

```

vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # send-syslog critical messagetext
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

コンソール属性の使用

コンソール属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。コンソール属性の設定も可能です。設定するとき、属性に重大度レベルを割り当てます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「コンソール属性の作成」(P.8-4)
- 「コンソール属性のイネーブル化」(P.8-6)
- 「コンソール属性のディセーブル化」(P.8-7)
- 「コンソール属性の設定」(P.8-9)

コンソール属性の作成

コンソール属性を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. connect policy-mgr
2. scope org
3. scope policy
4. scope syslog <policy-name>

5. create console

6. commit-buffer

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	create console Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # create console	コンソールを作成します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コンソールを作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # create console
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

コンソール属性のイネーブル化

コンソール属性をイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable console**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	enable console Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable console	コンソールをイネーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コンソール属性をイネーブルにする例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable console
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

コンソール属性のディセーブル化

コンソール属性をディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **disable console**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	disable console Example vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable console	コンソールをディセーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コンソール属性をディセーブルにする例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable console
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

コンソール属性の設定

コンソール属性に重大度レベルを割り当てることができます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `set console level {alerts | critical | emergencies}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope syslog</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12</code>	syslog モードを開始します。
ステップ5	<code>set console level</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set console level critical</code>	レベルを設定します。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、レベルを設定する例を示します。

```

vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # set console level critical
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

ファイル属性の使用

ファイル属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。ファイル属性の設定も可能です。設定するときに、属性に重大度レベル、名前、およびファイルサイズを割り当てます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ファイルの作成」 (P.8-10)
- 「ファイルのイネーブル化」 (P.8-12)
- 「ファイルのディセーブル化」 (P.8-13)
- 「ファイルの設定」 (P.8-15)

ファイルの作成

ファイルを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. connect policy-mgr
2. scope org

3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `create file`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope syslog</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12</code>	syslog モードを開始します。
ステップ5	<code>create file</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create file</code>	ファイルを作成します。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルを作成する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12

```

```

vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create file
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

ファイルのイネーブル化

ファイルをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable file**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 5	enable file Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable file	ファイルをイネーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ファイルをイネーブルにする例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable file
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

ファイルのディセーブル化

ファイルをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**

5. `disable file`6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<code>scope org</code> Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<code>scope policy</code> Example vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<code>scope syslog</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	<code>disable file</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable file	ファイルをディセーブルにします。
ステップ 6	<code>commit-buffer</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルをディセーブルにする例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable file
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

ファイルの設定

ファイル属性に重大度レベル、名前、およびファイル サイズを割り当てることができます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `set file level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings } | name <file-name> | size <file-size>`



(注) 同じコマンドの中でファイルに 1 つ以上のオプション（重大度レベル、名前、またはファイル サイズ、あるいはこれらの組み合わせ）を指定できます。また、このコマンドの中で重大度レベル、名前、およびファイル サイズを記述する順序は任意です。

6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ 3	<code>scope policy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<code>scope syslog</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12</code>	syslog モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 5	set file level Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set file level alerts	ファイルを設定します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ファイル属性の重大度レベルを `alerts` に設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set file level alerts
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

モニタ属性の使用

モニタ属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。モニタ属性の設定も可能です。設定するときに、属性に重大度レベルを割り当てます。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「モニタの作成」(P.8-16)
- 「モニタのイネーブル化」(P.8-18)
- 「モニタのディセーブル化」(P.8-19)
- 「モニタの設定」(P.8-21)

モニタの作成

モニタを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **create monitor**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	create monitor Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create monitor	モニタを作成します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、モニタを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
```

```

Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

```

```

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # create monitor
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

モニタのイネーブル化

モニタをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable monitor**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	scope policy Example vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	enable monitor Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable monitor	モニタをイネーブルにします。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、モニタをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable monitor
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

モニタのディセーブル化

モニタをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **disable monitor**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	disable monitor Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable monitor	モニタをディセーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、モニタをディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
```

```

http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable monitor
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

モニタの設定

モニタを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set monitor {level} {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings}**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 4	scope syslog Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	set monitor level Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set monitor level critical	モニタを設定します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、モニタを設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set monitor level critical
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

リモート宛先属性の使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「リモート宛先の作成」 (P.8-22)
- 「リモート宛先のイネーブル化」 (P.8-24)
- 「リモート宛先のディセーブル化」 (P.8-25)
- 「リモート宛先の設定」 (P.8-27)

リモート宛先の作成

リモート宛先を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog** <policy-name>
5. **create remote-destination** {server-1 | server-2 | server-3} <server-name>
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	create remote-destination Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create remote-destination server-1 test	リモート宛先を作成します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート宛先を作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
```

```

Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # create remote-destination server-1 test
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

リモート宛先のイネーブル化

リモート宛先をイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable remote-destination {server-1 | server-2 | server-3}**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	scope policy Example vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	enable Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable remote-destination server-1	リモート宛先をイネーブルにします。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート宛先をイネーブルにする例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable remote-destination server-1
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

リモート宛先のディセーブル化

リモート宛先をディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `disable remote-destination {server-1 | server-2 | server-3}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) # scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ 3	<code>scope policy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<code>scope syslog</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12</code>	syslog モードを開始します。
ステップ 5	<code>disable</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable remote-destination server-1</code>	リモート宛先をディセーブルにします。
ステップ 6	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート宛先をディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
```



```

http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable remote-destination server-1
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

リモート宛先の設定

リモート宛先を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-8) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set remote-destination {server-1 | server-2 | server-3} {facility {auth | authpriv | cron | daemon | ftp | kernel | local0 | local1 | local2 | local3 | local4 | local5 | local6 | local7 | lpr | mail | news | syslog | user | uucp} | hostname <host-name> | level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings}}**



(注) コマンド **set remote-destination {server-1 | server-2 | server-3}** の後に facility、hostname、または level を入力できます。同じコマンドの中で 1 つ以上のオプション (facility、hostname、および level) を任意の順序で指定できます。

6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	set remote-destination Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set remote-destination server-2 level critical	リモート宛先を設定します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート宛先を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set remote-destination server-2 level critical
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```



INDEX

C

copy [2-11](#)
create console [8-4](#)
create corefile [6-1](#)
create faultpolicy [6-6](#)
create file [8-10](#)
create log [6-10](#)
create monitor [8-17](#)
create remote-destination [8-23, 8-24, 8-26](#)
create syslog [6-14](#)

D

delete [2-12](#)
delete corefile [6-4](#)
delete faultpolicy [6-8](#)
delete log [6-13](#)
delete syslog [6-17](#)
dir [2-13](#)
disable console [8-7](#)
disable file [8-13](#)
disable monitor [8-19, 8-20](#)
domain name [5-7](#)

E

enable console [8-6](#)
enable file [8-12](#)
enable monitor [8-18](#)
events [4-8](#)

F

faults [4-10](#)
FSM の表示 [2-31](#)

M

modify shared-secret [2-14](#)

N

NTP サーバ [5-3](#)

P

ping [2-18](#)

R

reboot [2-1](#)

S

send-syslog [8-3](#)
service reinit [2-6](#)
service restart [2-7](#)
service start [2-8](#)
service status [2-9](#)
service stop [2-10](#)
set console level [8-9](#)
set descr [8-1](#)
set description [7-3](#)
set file [8-15](#)

set hostname [2-4](#)
 set level [7-20](#)
 set monitor level [8-21](#)
 set net gw [2-16](#)
 set net ip [2-15](#)
 set net netmask [2-17, 2-18](#)
 set size [7-22](#)
 show cli [2-22](#)
 show clock [2-23](#)
 show corefile [6-3](#)
 show faultpolicy [6-7](#)
 show fsm [2-31](#)
 show log [6-11](#)
 show network-interface [2-24](#)
 show providers [2-21](#)
 show syslog [6-15](#)
 show system [2-25](#)
 show tech-support [2-28, 2-29](#)
 show version [2-26](#)
 syslog ポリシー [5-13, 8-1](#)
 syslog ポリシーの削除 [6-16](#)
 syslog ポリシーの作成 [6-14](#)
 syslog ポリシーの表示 [6-15](#)
 syslog メッセージ [8-3](#)

T

terminal length [2-19](#)
 terminal session-timeout [2-20](#)
 timezone [5-15](#)

U

update [2-2](#)

V

VNMC の復元 [2-4](#)

VNMC のレポート [2-1](#)
 VNMC プロバイダー [2-21](#)

あ

アクション属性 [3-24](#)
 アプリケーションのバージョン番号 [2-26](#)

か

概要

CLI [1-5](#)
 VNMC [1-1](#)

監査ログ [4-7](#)
 管理状態 [7-1, 7-9](#)
 管理ログ [4-4](#)
 管理ログ レベル [4-2](#)

き

揮発性ディレクトリ [2-12](#)
 共有秘密情報 [2-14](#)

く

クリア処理 [7-11](#)

こ

コア ファイル転送ホスト名 [7-5](#)
 コア ファイル ポリシー [6-1](#)
 コア ファイル ポリシーの削除 [6-4](#)
 コア ファイル ポリシーのパス [7-6](#)
 コア ファイル ポリシーのポート番号 [7-8](#)
 コマンド
 reboot [2-1](#)
 set hostname [2-4](#)
 update [2-2](#)

コンソール属性 [8-4](#)

さ

サービスの開始 [2-7](#)

サービスの再開 [2-6](#)

サービスのステータス [2-8](#)

サービスの停止 [2-9](#)

し

システム イメージの更新履歴 [2-28](#)

システム クロック [2-23](#)

システム情報 [2-25](#)

システム情報の表示 [2-21](#)

重大度レベル [8-9](#)

障害の確認 [4-6](#)

障害ポリシー [5-11, 6-5](#)

せ

設定情報 [2-24](#)

説明属性 [3-8, 3-25](#)

た

ターミナル セッション タイムアウト [2-19](#)

タイプ属性 [3-12](#)

て

データのインポート サービス [3-19](#)

データのエクスポート [3-14](#)

テクニカル サポート情報の表示 [2-27](#)

デバイス プロファイル [5-8](#)

と

ドメイン ネーム サーバ (DNS) [5-1](#)

は

パスワード属性 [3-9](#)

バックアップ カウント [7-17](#)

バックアップ設定 [3-1](#)

ふ

ファイル属性 [8-16](#)

ファイルのバックアップ [3-3](#)

ファイルのバックアップのイネーブル化 [3-6](#)

ファイルのバックアップのディセーブル化 [3-7](#)

ファイル ポリシー [5-9](#)

ブートフラッシュ ディレクトリ [2-12](#)

復元 [2-4](#)

フラッピング間隔 [7-14](#)

プロトコル属性 [3-28](#)

ほ

保持期間 [7-15](#)

ポリシーの説明 [8-1](#)

ま

マニュアル [xi](#)

その他の資料 [xi](#)

も

モニタ属性 [8-16](#)

モニタの作成 [8-16](#)

モニタの設定 [8-21](#)

ゆ

ユーザ属性 [3-13](#)

り

リモート宛先 [8-22](#)

リモート宛先のイネーブル化 [8-24](#)

リモート宛先の設定 [8-27](#)

リモート宛先のディセーブル化 [8-25](#)

リモート ファイル属性 [3-11](#)

リモート ファイル プレフィックス属性 [3-30](#)

リモート ファイル名 [3-10](#)

ろ

ログ サイズ [4-1](#)

ログの重大度レベル [4-1](#)

ログ パラメータ [4-3](#)

ログ ポリシー [5-12, 6-10](#)

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>